

## 令和2年における千葉県の工業動向

### 1 概況

令和2年(令和3年6月1日現在)における本県の従業者数4人以上の事業所数は4,748事業所、従業者数は206,017人、出荷額は11兆9,264億円、付加価値額は3兆1,365億円でした。

本県の従業者数30人以上の事業所の投資総額は6,357億円でした。

第1表 主要項目結果表

(金額:百万円)

区 分	令和2年	【参考】平成31年・ 令和元年
事業所数	4,748	4,753
従業者数(人)	206,017	208,486
製造品出荷額等	11,926,431	12,518,316
付加価値額	3,136,467	3,111,532
投資総額	635,663	523,926

(注1) 従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 第1表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## 2 事業所数

### －従業員4人以上の事業所数は4,748事業所－

従業員4人以上の事業所数は4,748事業所でした。

#### (1) 産業中分類別の状況

事業所数を産業中分類別構成比で見ると、金属製品(817事業所、構成比17.2%)が最も高く、次いで食料品(715事業所、同15.1%)、生産用機械(392事業所、同8.3%)、プラスチック(315事業所、同6.6%)、化学(271事業所、同5.7%)の順となっています。

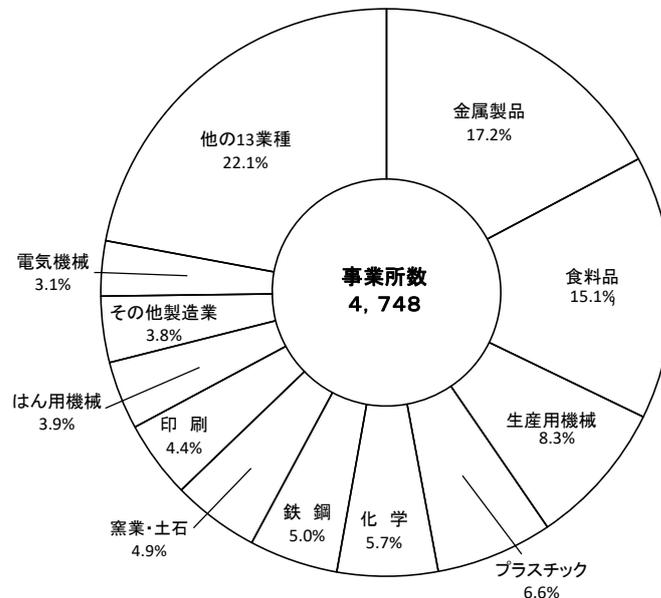
第2表 産業中分類別事業所数

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	事業所数	構成比(%)	事業所数	構成比(%)
総 数	4,748	100.0	4,753	100.0
09 食 料 品	715	15.1	800	16.8
10 飲 料・た ば こ	98	2.1	85	1.8
11 織 材	109	2.3	121	2.5
12 木 材・木 製 品	79	1.7	70	1.5
13 家 具・装 備 品	81	1.7	79	1.7
14 パ ル プ・紙	118	2.5	115	2.4
15 印 刷	209	4.4	191	4.0
16 化 学	271	5.7	247	5.2
17 石 油・石 炭	46	1.0	42	0.9
18 プ ラ ス チ ッ ク	315	6.6	327	6.9
19 ゴ ム	82	1.7	95	2.0
20 な め し 革	33	0.7	45	0.9
21 窯 業・土 石	234	4.9	231	4.9
22 鉄 鋼	239	5.0	228	4.8
23 非 鉄	72	1.5	76	1.6
24 金 属 製 品	817	17.2	804	16.9
25 は ん 用 機 械	185	3.9	178	3.7
26 生 産 用 機 械	392	8.3	412	8.7
27 業 務 用 機 械	113	2.4	100	2.1
28 電 子・デ バ イ ス	74	1.6	59	1.2
29 電 気 機 械	149	3.1	140	2.9
30 情 報 通 信 機 械	24	0.5	25	0.5
31 輸 送 用 機 械	114	2.4	110	2.3
32 そ の 他 製 造 業	179	3.8	173	3.6

(注1) 第2表の「年次」については、「事業所数、従業員数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

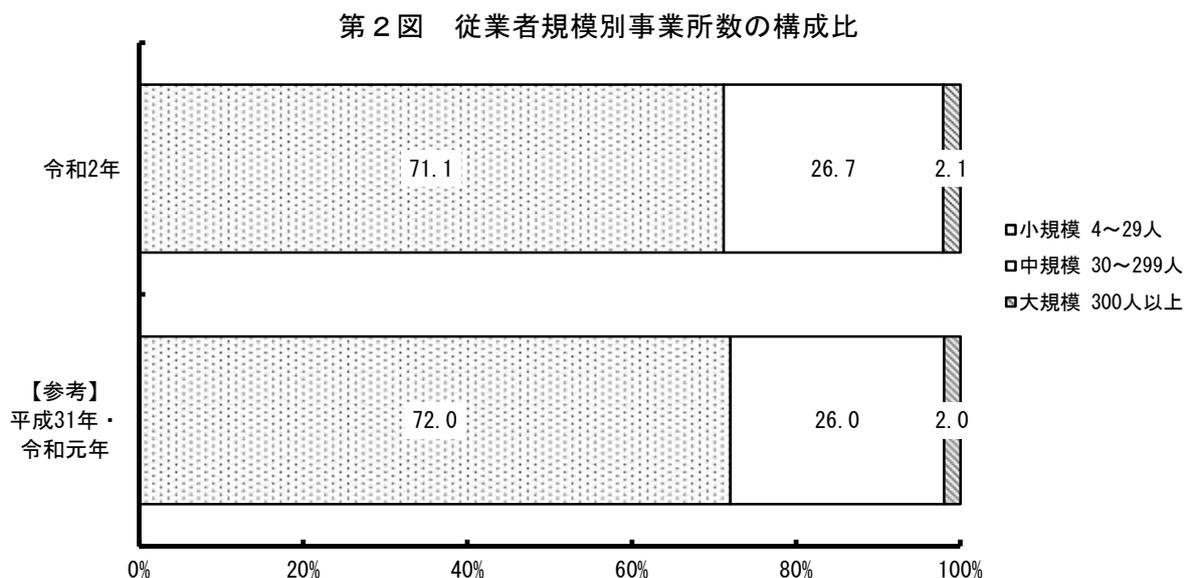
(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

第1図 産業中分類別事業所数の構成比



## (2) 従業者規模別の状況

事業所数の従業者規模別構成比をみると、小規模事業所が71.1%(3,377事業所)、中規模事業所が26.7%(1,269事業所)、大規模事業所が2.1%(102事業所)となっています。



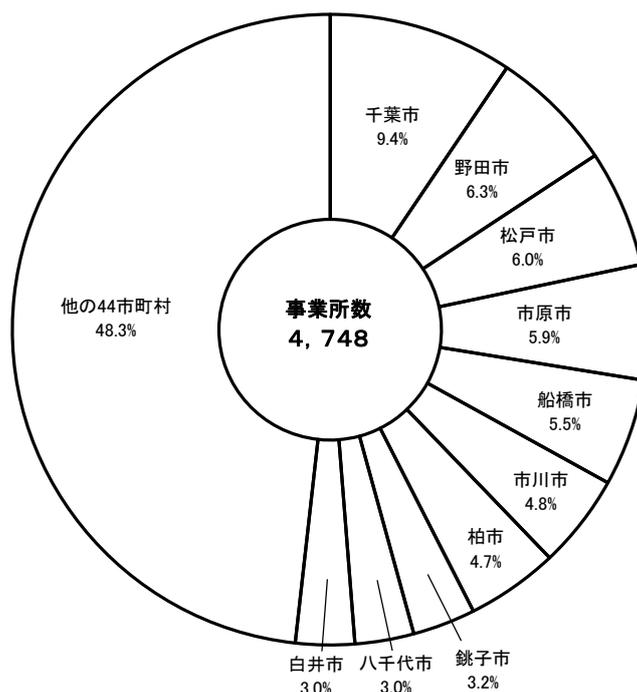
(注1) 第2図の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (3) 市町村別の状況

事業所数の市町村別構成比をみると、千葉市(447事業所、構成比9.4%)が最も高く、次いで野田市(298事業所、同6.3%)、松戸市(285事業所、同6.0%)、市原市(279事業所、同5.9%)、船橋市(260事業所、同5.5%)の順となっています。

**第3図 市町村別事業所数の構成比**



### 3 従業者数

#### －従業者数は206,017人－

従業者4人以上の事業所の従業者数は206,017人でした。

#### (1) 産業中分類別の状況

従業者数を産業中分類別構成比で見ると、食料品(51,659人、構成比25.1%)が最も高く、次いで化学(22,018人、同10.7%)、金属製品(20,732人、同10.1%)、鉄鋼(16,373人、同7.9%)、生産用機械(13,294人、同6.5%)の順となっています。

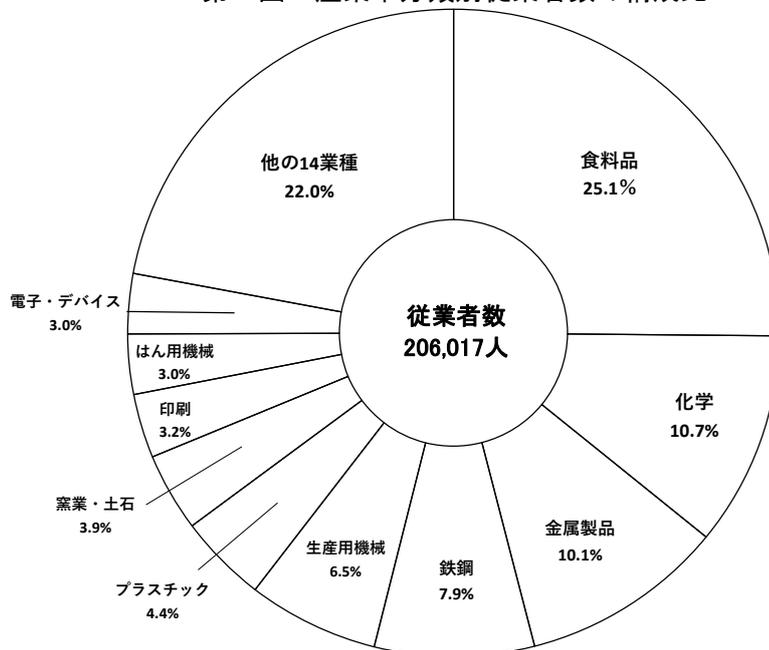
第3表 産業中分類別従業者数

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)
総 数	206,017	100.0	208,486	100.0
09 食 料 品	51,659	25.1	50,798	24.4
10 飲 料・た ば こ	4,285	2.1	3,846	1.8
11 織 維	1,923	0.9	2,116	1.0
12 木 材・木 製 品	2,097	1.0	1,892	0.9
13 家 具・装 備 品	2,245	1.1	2,428	1.2
14 パ ル プ・紙	4,456	2.2	4,621	2.2
15 印 刷	6,514	3.2	4,791	2.3
16 化 学	22,018	10.7	22,430	10.8
17 石 油・石 炭	3,926	1.9	3,184	1.5
18 プ ラ ス チ ッ ク	9,152	4.4	9,842	4.7
19 ゴ ム	2,049	1.0	2,376	1.1
20 な め し 革	689	0.3	762	0.4
21 窯 業・土 石	8,065	3.9	7,892	3.8
22 鉄 鋼	16,373	7.9	17,652	8.5
23 非 鉄	5,032	2.4	5,293	2.5
24 金 属 製 品	20,732	10.1	21,269	10.2
25 は ん 用 機 械	6,266	3.0	6,417	3.1
26 生 産 用 機 械	13,294	6.5	14,111	6.8
27 業 務 用 機 械	3,696	1.8	3,760	1.8
28 電 子・デ バ イ ス	6,146	3.0	5,742	2.8
29 電 気 機 械	5,637	2.7	6,903	3.3
30 情 報 通 信 機 械	1,949	0.9	2,058	1.0
31 輸 送 用 機 械	3,597	1.7	4,249	2.0
32 そ の 他 製 造 業	4,217	2.0	4,054	1.9

(注1) 第3表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

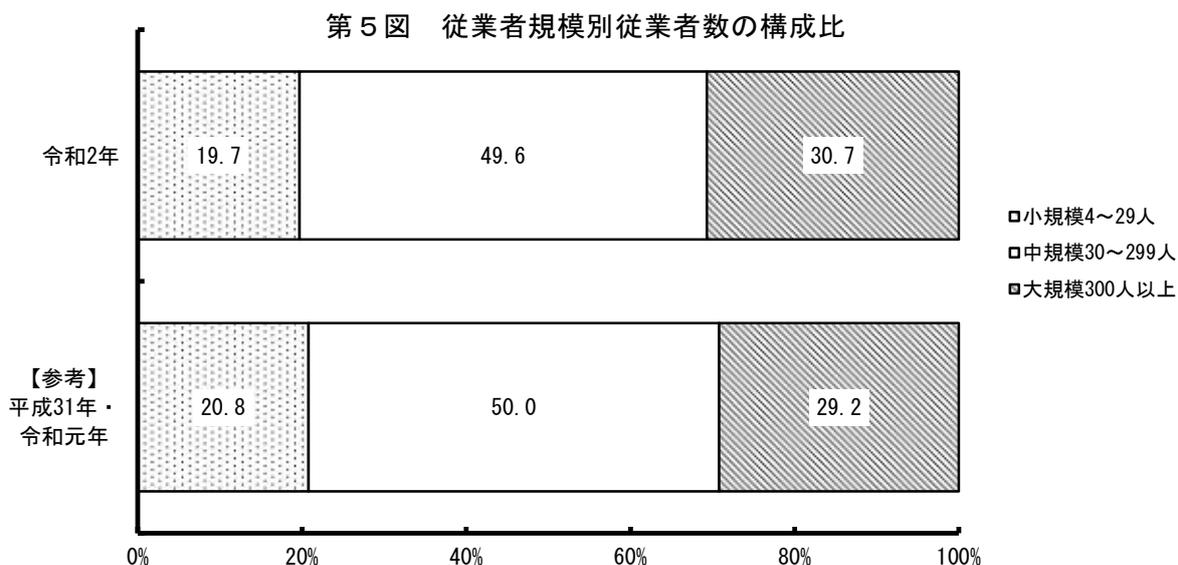
(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

第4図 産業中分類別従業者数の構成比



## (2) 従業者規模別の状況

従業者数の従業者規模別構成比をみると、小規模事業所が19.7%(40,570人)、中規模事業所が49.6%(102,180人)、大規模事業所が30.7%(63,267人)となっています。

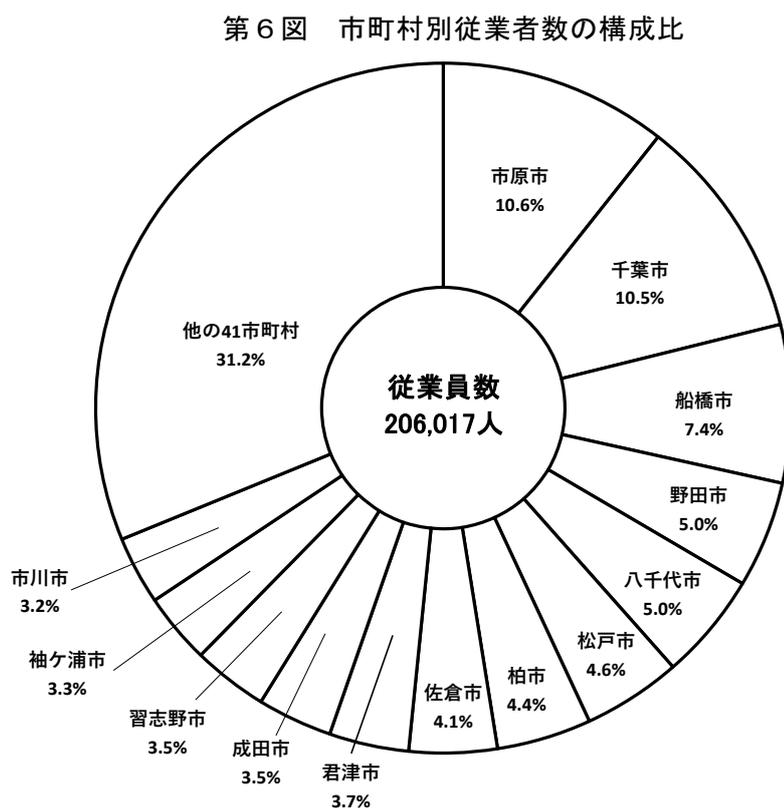


(注1) 第5図の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (3) 市町村別の状況

従業者数の市町村別構成比をみると、市原市(21,938人、構成比10.6%)が最も高く、次いで千葉市(21,683人、同10.5%)、船橋市(15,157人、同7.4%)、野田市(10,245人、同5.0%)、八千代市(10,200人、同5.0%)の順となっています。



#### (4) 男女別の状況

従業者数を男女別にみると、男性従業者は146,780人、女性従業者は59,237人でした。

男性従業者の割合を産業中分類別にみると、石油・石炭(91.6%)が最も高く、次いで鉄鋼(90.6%)、非鉄(86.2%)、窯業・土石(85.8%)、はん用機械(83.1%)の順となっています。

女性従業者の割合を産業中分類別にみると、繊維(64.4%)が最も高く、次いでなめし革(52.4%)、食料品(50.0%)、その他製造業(42.4%)、業務用機械(37.6%)の順となっています。

第4表 産業中分類別従業者数の男女の割合

区 分	計		男		女		
	従業者数 (人)	従業者数 (人)	男の割合 (%)		従業者数 (人)	女の割合 (%)	
			令和2年	【参考】 平成31年・ 令和元年		令和2年	【参考】 平成31年・ 令和元年
総 数	206,017	146,780	71.2	70.7	59,237	28.8	29.3
09 食 料 品	51,659	25,838	50.0	48.8	25,821	50.0	51.2
10 飲料・たばこ	4,285	3,191	74.5	73.8	1,094	25.5	26.2
11 織 維	1,923	685	35.6	33.8	1,238	64.4	66.2
12 木材・木製品	2,097	1,654	78.9	74.7	443	21.1	25.3
13 家具・装備品	2,245	1,696	75.5	76.0	549	24.5	24.0
14 パルプ・紙	4,456	3,178	71.3	69.9	1,278	28.7	30.1
15 印 刷	6,514	4,332	66.5	67.1	2,182	33.5	32.9
16 化 学	22,018	17,637	80.1	79.0	4,381	19.9	21.0
17 石油・石炭	3,926	3,595	91.6	90.6	331	8.4	9.4
18 プラスチック	9,152	6,275	68.6	67.5	2,877	31.4	32.5
19 ゴ ム	2,049	1,362	66.5	65.2	687	33.5	34.8
20 なめし革	689	328	47.6	42.8	361	52.4	57.2
21 窯業・土石	8,065	6,922	85.8	84.3	1,143	14.2	15.7
22 鉄 鋼	16,373	14,829	90.6	90.1	1,544	9.4	9.9
23 非 鉄	5,032	4,339	86.2	84.9	693	13.8	15.1
24 金 属 製 品	20,732	16,557	79.9	79.6	4,175	20.1	20.4
25 はん用機械	6,266	5,209	83.1	82.6	1,057	16.9	17.4
26 生産用機械	13,294	11,047	83.1	84.1	2,247	16.9	15.9
27 業務用機械	3,696	2,307	62.4	61.5	1,389	37.6	38.5
28 電子・デバイス	6,146	4,906	79.8	80.7	1,240	20.2	19.3
29 電 気 機 械	5,637	4,050	71.8	72.2	1,587	28.2	27.8
30 情報通信機械	1,949	1,572	80.7	72.1	377	19.3	27.9
31 輸送用機械	3,597	2,844	79.1	79.8	753	20.9	20.2
32 その他製造業	4,217	2,427	57.6	57.2	1,790	42.4	42.8

(注1) 第4表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

#### 4 製造品出荷額等

##### －製造品出荷額等は11兆9,264億円－

従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等は11兆9,264億円でした。

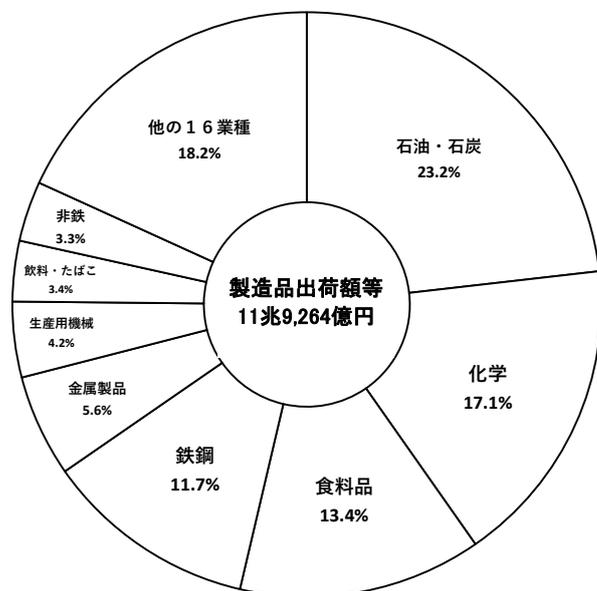
##### (1) 産業中分類別の状況

製造品出荷額等を産業中分類別構成比で見ると、石油・石炭(2兆7,645億円、23.2%)が最も高く、次いで化学(2兆420億円、17.1%)、食料品(1兆5,927億円、13.4%)、鉄鋼(1兆3,934億円、11.7%)、金属製品(6,737億円、5.6%)の順となっています。

第5表 産業中分類別製造品出荷額等

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	製造品出荷額等 (百万円)	構成比(%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比(%)
総 数	11,926,431	100.0	12,518,316	100.0
09 食 料 品	1,592,700	13.4	1,623,769	13.0
10 飲 料・た ば こ	400,402	3.4	390,508	3.1
11 織 維	25,007	0.2	24,448	0.2
12 木 材・木 製 品	64,964	0.5	70,502	0.6
13 家 具・装 備 品	101,690	0.9	98,195	0.8
14 パ ル プ・紙	137,903	1.2	141,914	1.1
15 印 刷	162,057	1.4	106,091	0.8
16 化 学	2,041,994	17.1	2,200,943	17.6
17 石 油・石 炭	2,764,499	23.2	2,847,956	22.8
18 プ ラ ス チ ッ ク	272,713	2.3	289,545	2.3
19 ゴ ム	38,433	0.3	45,000	0.4
20 な め し 革	9,709	0.1	11,440	0.1
21 窯 業・土 石	294,527	2.5	302,015	2.4
22 鉄 鋼	1,393,436	11.7	1,626,987	13.0
23 非 鉄	397,133	3.3	342,934	2.7
24 金 属 製 品	673,691	5.6	690,878	5.5
25 は ん 用 機 械	201,575	1.7	228,540	1.8
26 生 産 用 機 械	497,773	4.2	572,898	4.6
27 業 務 用 機 械	149,559	1.3	142,266	1.1
28 電 子・デ バ イ ス	214,982	1.8	178,611	1.4
29 電 気 機 械	159,467	1.3	178,255	1.4
30 情 報 通 信 機 械	124,227	1.0	148,082	1.2
31 輸 送 用 機 械	79,354	0.7	131,385	1.0
32 そ の 他 製 造 業	128,635	1.1	125,155	1.0

第7図 産業中分類別製造品出荷額等の構成比



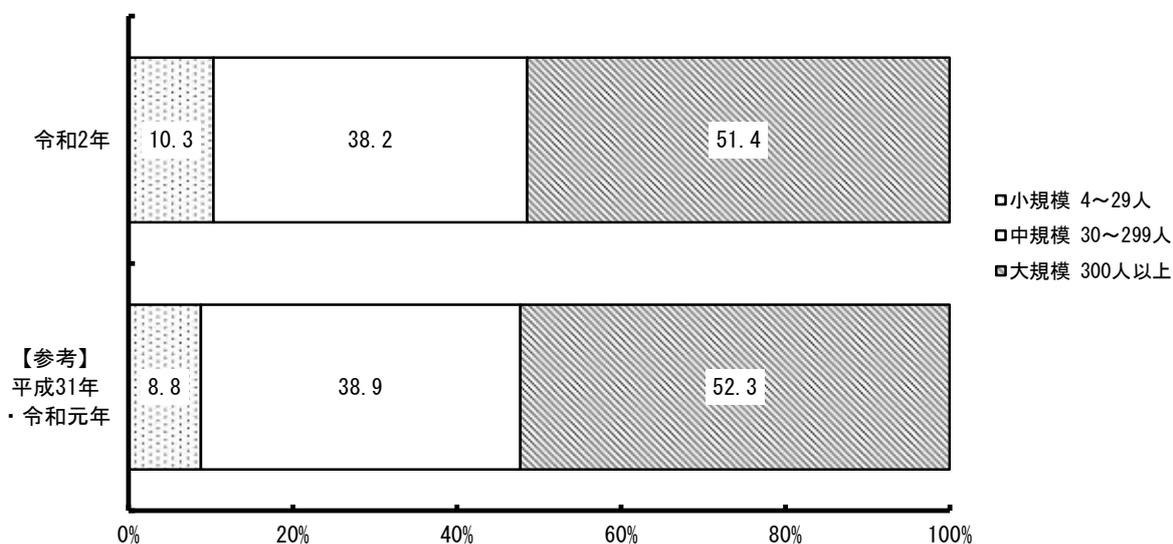
(注1) 第5表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (2) 従業者規模別の状況

製造品出荷額等の従業者規模別構成比をみると、小規模事業所が10.3%(1兆2,310億円)、中規模事業所が38.2%(4兆5,597億円)、大規模事業所が51.4%(6兆1,358億円)となっています。

第8図 従業者規模別製造品出荷額等の構成比



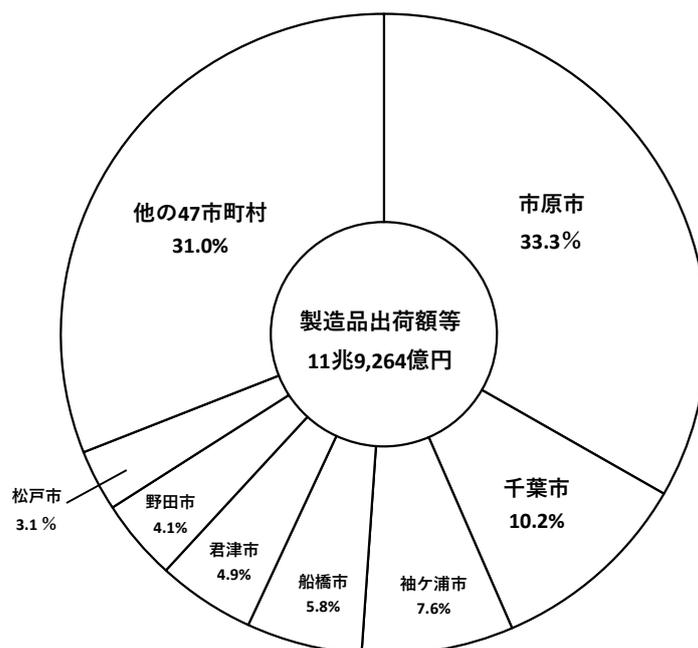
(注1) 第8図の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (3) 市町村別の状況

製造品出荷額等の市町村別構成比をみると、市原市(3兆9,692億円、構成比33.3%)が最も高く、次いで千葉市(1兆2,145億円、同10.2%)、袖ヶ浦市(9,010億円、同7.6%)、船橋市(6,963億円、同5.8%)、君津市(5,851億円、同4.9%)の順となっています。

第9図 市町村別製造品出荷額等の構成比



## 5 付加価値額

### －付加価値額は3兆1,365億円－

従業者4人以上の事業所の付加価値額は3兆1,365億円でした。

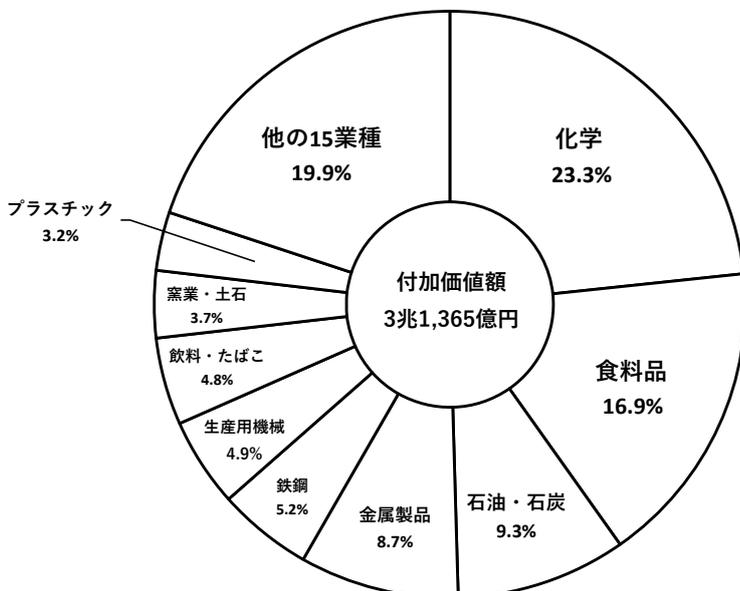
#### (1) 産業中分類別の状況

付加価値額を産業中分類別構成比で見ると、化学(7,306億円、構成比23.3%)が最も高く、次いで食料品(5,298億円、同16.9%)、石油・石炭(2,926億円、同9.3%)、金属製品(2,737億円、同8.7%)、鉄鋼(1,643億円、同5.2%)の順となっています。

第6表 産業中分類別付加価値額

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	付加価値額 (百万円)	構成比(%)	付加価値額 (百万円)	構成比(%)
総 数	3,136,467	100.0	3,111,532	100.0
09 食 料 品	529,782	16.9	508,689	16.3
10 飲 料・た ば こ	149,125	4.8	150,066	4.8
11 織 維	13,689	0.4	11,251	0.4
12 木 材・木 製 品	18,470	0.6	19,703	0.6
13 家 具・装 備 品	39,110	1.2	37,429	1.2
14 パ ル プ・紙	49,359	1.6	48,474	1.6
15 印 刷	72,816	2.3	50,527	1.6
16 化 学	730,552	23.3	753,492	24.2
17 石 油・石 炭	292,597	9.3	143,814	4.6
18 プ ラ ス チ ッ ク	101,093	3.2	101,536	3.3
19 ゴ ム	16,854	0.5	19,260	0.6
20 な め し 革	4,630	0.1	3,895	0.1
21 窯 業・土 石	115,581	3.7	119,845	3.9
22 鉄 鋼	164,254	5.2	230,422	7.4
23 非 鉄	88,226	2.8	86,407	2.8
24 金 属 製 品	273,716	8.7	279,381	9.0
25 は ん 用 機 械	78,870	2.5	90,937	2.9
26 生 産 用 機 械	154,833	4.9	192,621	6.2
27 業 務 用 機 械	69,061	2.2	59,317	1.9
28 電 子・デ バ イ ス	52,775	1.7	39,994	1.3
29 電 気 機 械	53,790	1.7	65,673	2.1
30 情 報 通 信 機 械	9,315	0.3	23,807	0.8
31 輸 送 用 機 械	22,511	0.7	38,515	1.2
32 そ の 他 製 造 業	35,457	1.1	36,475	1.2

第10図 産業中分類別付加価値額の構成比



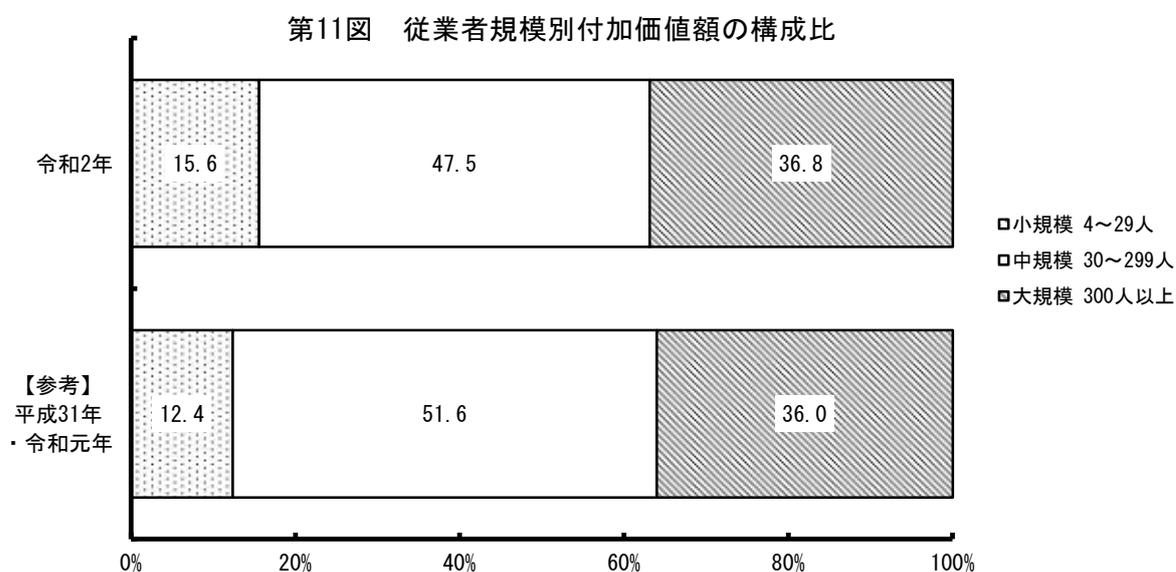
(注1) 従業者29人以下の事業所は、粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 第6表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (2) 従業者規模別の状況

付加価値額の従業者規模別構成比をみると、小規模事業所は15.6%(4,907億円)、中規模事業所は47.5%(1兆4,908億円)、大規模事業所は36.8%(1兆1,550億円)となっています。



(注1) 従業者29人以下の事業所は、粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

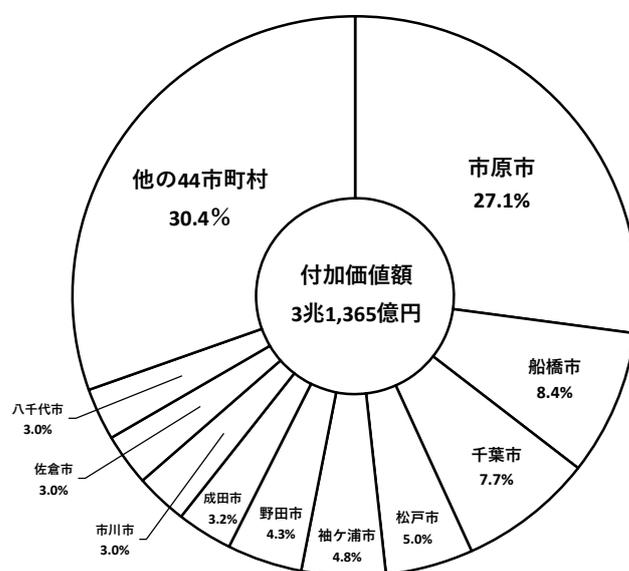
(注2) 第11図の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (3) 市町村別の状況

付加価値額の市町村別構成比をみると、市原市(8,491億円、構成比27.1%)が最も高く、次いで船橋市(2,648億円、同8.4%)、千葉市(2,423億円、同7.7%)、松戸市(1,566億円、同5.0%)、袖ヶ浦市(1,517億円、同4.8%)の順となっています。

第12図 市町村別付加価値額の構成比



#### (4) 従業者1人当たりの状況

従業者1人当たりの付加価値額は1,522万円でした。産業中分類別にみると、石油・石炭(7,453万円)が最も多く、次いで飲料・たばこ(3,480万円)、化学(3,318万円)の順となっています。

#### (5) 付加価値率の状況

付加価値率は28.9%でした。産業中分類別にみると、繊維(58.0%)が最も多く、次いで飲料・たばこ(51.0%)、なめし革(50.0%)の順となっています。

第7表 産業中分類別及び従業者規模別、従業者1人当たり付加価値額、付加価値率

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	付加価値額(万円)	付加価値率(%)	付加価値額(万円)	付加価値率(%)
総 数	1,522	28.9	1,492	26.3
09 食 料 品	1,026	34.3	1,001	32.1
10 飲 料・たばこ	3,480	51.0	3,902	52.0
11 織 維	712	58.0	532	48.0
12 木 材・木 製 品	881	29.2	1,041	28.0
13 家 具・装 備 品	1,742	40.2	1,542	39.7
14 パ ル プ・紙	1,108	36.9	1,049	34.8
15 印 刷	1,118	47.8	1,055	49.6
16 化 学	3,318	37.5	3,359	34.8
17 石 油・石 炭	7,453	14.0	4,517	6.0
18 プ ラ ス チ ッ ク	1,105	39.2	1,032	35.9
19 ゴ ム	823	46.2	811	44.5
20 な め し 革	672	50.0	511	35.1
21 窯 業・土 石	1,433	40.9	1,519	40.5
22 鉄 鋼	1,003	12.1	1,305	14.0
23 非 鉄	1,753	22.6	1,632	25.1
24 金 属 製 品	1,320	42.4	1,314	41.7
25 は ん 用 機 械	1,259	39.9	1,417	40.3
26 生 産 用 機 械	1,165	31.4	1,365	33.4
27 業 務 用 機 械	1,869	47.9	1,578	43.7
28 電 子・デ バ イ ス	859	24.2	697	21.9
29 電 気 機 械	954	35.0	951	37.2
30 情 報 通 信 機 械	478	7.4	1,157	15.8
31 輸 送 用 機 械	626	29.1	906	32.3
32 そ の 他 製 造 業	841	28.9	900	29.5
4～9人	1,006	38.3	744	39.8
10～19人	1,403	46.0	913	35.1
20～29人	1,136	37.7	957	35.8
30～49人	1,170	29.0	1,259	31.6
50～99人	1,223	32.0	1,267	30.9
100～199人	1,762	37.9	1,767	35.8
200～299人	1,594	37.5	1,793	37.5
300～499人	1,402	21.4	1,767	21.5
500～999人	3,129	34.5	2,518	19.1
1000人以上	880	8.8	1,047	13.3

(注1) 従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 従業者1人当たりの付加価値額＝付加価値額(従業者29人以下の事業所は粗付加価値額)÷従業者数

付加価値率＝付加価値額(従業者29人以下の事業所は粗付加価値額)÷{製造品出荷額等＋製造品在庫額年間増減(30人以上)  
＋半製品及び仕掛品在庫額年間増減(従業者30人以上)－(推計酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税)  
－推計消費税額}×100

(注3) 第7表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注4) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## 6 投資総額

### －投資総額は6,357億円－

従業者30人以上の事業所の投資総額は6,357億円でした。

#### (1) 産業中分類別の状況

産業中分類別構成比で見ると、石油・石炭(2,582億円、構成比40.6%)が最も高く、次いで化学(1,268億円、同19.9%)、鉄鋼(897億円、同14.1%)、食料品(309億円、同4.9%)、電子・デバイス(236億円、同3.7%)の順となっています。

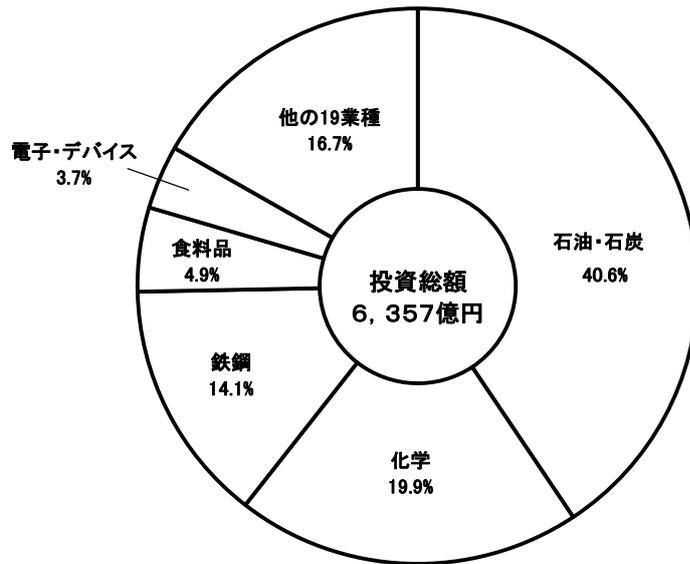
第8表 産業中分類別投資総額

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	投資総額(百万円)	構成比(%)	投資総額(百万円)	構成比(%)
総 数	635,663	100.0	523,926	100.0
09 食 料 品	30,930	4.9	58,503	11.2
10 飲 料・たばこ	8,409	1.3	9,514	1.8
11 織 維	107	0.0	1,448	0.3
12 木 材・木 製 品	578	0.1	1,812	0.3
13 家 具・装 備 品	2,466	0.4	2,440	0.5
14 パ ル プ・紙	14,896	2.3	5,655	1.1
15 印 刷	2,500	0.4	2,134	0.4
16 化 学	126,772	19.9	135,463	25.9
17 石 油・石 炭	258,225	40.6	29,471	5.6
18 プ ラ ス チ ッ ク	7,437	1.2	8,199	1.6
19 ゴ ム	629	0.1	867	0.2
20 な め し 革	X	X	289	0.1
21 窯 業・土 石	8,684	1.4	14,802	2.8
22 鉄 鋼	89,730	14.1	111,068	21.2
23 非 鉄 鉄	12,591	2.0	14,442	2.8
24 金 属 製 品	15,753	2.5	23,777	4.5
25 は ん 用 機 械	2,427	0.4	4,437	0.8
26 生 産 用 機 械	15,454	2.4	17,620	3.4
27 業 務 用 機 械	4,044	0.6	3,542	0.7
28 電 子・デ バ イ ス	23,632	3.7	58,683	11.2
29 電 気 機 械	5,929	0.9	4,466	0.9
30 情 報 通 信 機 械	X	X	4,629	0.9
31 輸 送 用 機 械	213	0.0	3,281	0.6
32 そ の 他 製 造 業	2,455	0.4	7,383	1.4

(注1) 第8表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

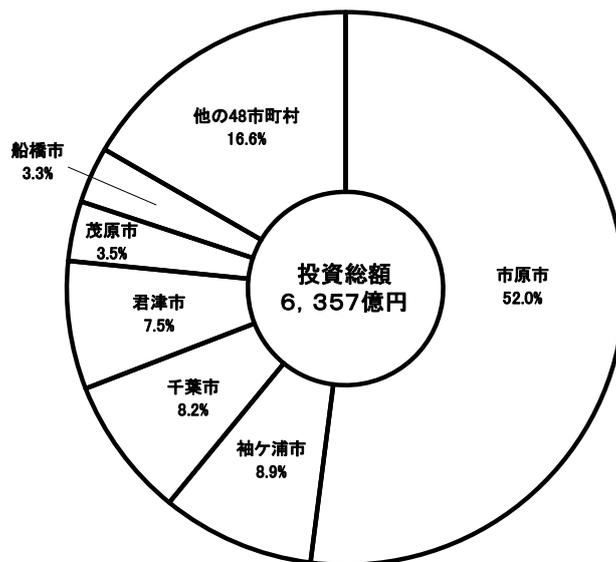
第13図 産業中分類別投資総額の構成比



(2) 市町村別の状況

投資総額の市町村別構成比をみると、市原市(3,304億円、構成比52.0%)が最も高く、次いで袖ヶ浦市(564億円、同8.9%)、千葉市(519億円、同8.2%)、君津市(477億円、同7.5%)、茂原市(222億円、同3.5%)の順となっています。

第14図 市町村別投資総額の構成比



## 7 原材料使用額等

### －原材料使用額等は7兆3,968億円－

従業者4人以上の事業所の原材料使用額等は7兆3,968億円でした。

また、原材料率は68.1%でした。

### ○産業中分類別の状況

産業中分類別構成比で見ると、石油・石炭(1兆7,731億円、構成比24.0%)が最も高く、次いで化学(1兆1,361億円、同15.4%)、鉄鋼(1兆1,195億円、同15.1%)、食料品(9,708億円、同13.1%)、金属製品(3,557億円、同4.8%)の順となっています。

第9表 産業中分類別原材料使用額等及び原材料率

区 分	令和2年			【参考】平成31年・令和元年		
	原材料使用額等 (百万円)	構成比 (%)	原材料率 (%)	原材料使用額等 (百万円)	構成比 (%)	原材料率 (%)
総 数	7,396,849	100.0	68.1	8,390,915	100.0	70.8
09 食 料 品	970,750	13.1	62.9	1,038,114	12.4	65.5
10 飲 料・たばこ	136,717	1.8	46.7	131,524	1.6	45.6
11 織 維	9,498	0.1	40.3	11,655	0.1	49.7
12 木 材・木 製 品	44,193	0.6	69.9	49,523	0.6	70.5
13 家 具・装 備 品	56,543	0.8	58.1	54,444	0.6	57.8
14 パ ル プ ・ 紙	79,639	1.1	59.6	86,322	1.0	62.0
15 印 刷	75,948	1.0	49.9	48,858	0.6	47.9
16 化 学	1,136,103	15.4	58.3	1,338,267	15.9	61.8
17 石 油 ・ 石 炭	1,773,126	24.0	84.6	2,220,570	26.5	92.8
18 プ ラ ス チ ッ ク	150,385	2.0	58.3	174,128	2.1	61.5
19 ゴ ム	18,494	0.3	50.7	22,809	0.3	52.7
20 な め し 革	4,554	0.1	49.2	7,131	0.1	64.3
21 窯 業 ・ 土 石	158,706	2.1	56.2	168,716	2.0	57.0
22 鉄 鋼	1,119,477	15.1	82.5	1,325,655	15.8	80.4
23 非 鉄	292,003	3.9	74.7	246,762	2.9	71.7
24 金 属 製 品	355,716	4.8	55.2	374,271	4.5	55.8
25 は ん 用 機 械	114,054	1.5	57.7	129,834	1.5	57.5
26 生 産 用 機 械	328,628	4.4	66.6	375,099	4.5	65.0
27 業 務 用 機 械	71,279	1.0	49.5	72,601	0.9	53.4
28 電 子 ・ デ バ イ ス	150,905	2.0	69.1	120,778	1.4	66.0
29 電 気 機 械	96,722	1.3	63.0	107,668	1.3	61.0
30 情 報 通 信 機 械	114,396	1.5	90.5	122,970	1.5	81.7
31 輸 送 用 機 械	53,442	0.7	69.1	78,576	0.9	65.9
32 そ の 他 製 造 業	85,571	1.2	69.7	84,640	1.0	68.6

(注1) 原材料率＝原材料使用額等÷(製造品出荷額等＋製造品在庫額年間増減＋半製品及び仕掛品在庫額年間増減－推計酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税－推計消費税額)×100

(注2) 第9表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## 8 現金給与総額

### － 1人平均471万円－

従業者4人以上の事業所の現金給与総額は9,693億円でした。

また、現金給与率は8.9%でした。

#### (1) 産業中分類別の状況

現金給与総額を産業中分類別構成比で見ると、食料品(1,787億円、構成比18.4%)が最も高く、次いで化学(1,300億円、同13.4%)、鉄鋼(1,018億円、同10.5%)、金属製品(1,007億円、同10.4%)、生産用機械(735億円、同7.6%)の順となっています。

現金給与率は、繊維(23.4%)が最も高く、以下、ゴム(21.9%)、輸送用機械(20.7%)の順となっており、一方、低い業種は石油・石炭(1.1%)、飲料・たばこ(6.3%)、非鉄(6.7%)の順となっています。

#### (2) 常用労働者1人当たりの状況

常用労働者1人当たりの現金給与総額は、県平均で471万円となりました。

産業中分類別にみると、情報通信機械(696万円)が最も多く、以下、鉄鋼(621万円)、電子・デバイス(613万円)の順となっており、少ない業種はなめし革(256万円)、繊維(287万円)、食料品(346万円)の順となっています。

第10表 産業中分類別現金給与総額、現金給与率、常用労働者1人当たり現金給与総額

区 分	令和2年				【参考】平成31年・令和元年			
	現金給与総額 (百万円)	構成比 (%)	現金給与率 (%)	1人当たり 現金給与総額 (万円)	現金給与総額 (百万円)	構成比 (%)	現金給与率 (%)	1人当たり 現金給与総額 (万円)
総 数	969,325	100.0	8.9	471	992,951	100.0	8.4	477
09 食 料 品	178,681	18.4	11.6	346	171,344	17.3	10.8	338
10 飲 料・たばこ	18,348	1.9	6.3	428	17,634	1.8	6.1	459
11 繊 維	5,525	0.6	23.4	287	5,832	0.6	24.9	277
12 木 材・木 製 品	8,695	0.9	13.7	415	7,105	0.7	10.1	376
13 家 具・装 備 品	10,725	1.1	11.0	478	11,356	1.1	12.1	469
14 パ ル プ・紙	19,125	2.0	14.3	429	17,726	1.8	12.7	384
15 印 刷	25,191	2.6	16.5	387	18,864	1.9	18.5	394
16 化 学	130,013	13.4	6.7	590	135,320	13.6	6.2	603
17 石 油・石 炭	23,938	2.5	1.1	610	23,583	2.4	1.0	741
18 プ ラ ス チ ッ ク	37,145	3.8	14.4	406	40,715	4.1	14.4	415
19 ゴ ム	8,004	0.8	21.9	391	9,736	1.0	22.5	411
20 な め し 革	1,765	0.2	19.1	256	2,303	0.2	20.8	307
21 窯 業・土 石	38,594	4.0	13.7	479	39,584	4.0	13.4	502
22 鉄 鋼	101,751	10.5	7.5	621	110,174	11.1	6.7	624
23 非 鉄	26,134	2.7	6.7	519	31,699	3.2	9.2	599
24 金 属 製 品	100,698	10.4	15.6	486	99,070	10.0	14.8	466
25 は ん 用 機 械	32,966	3.4	16.7	526	34,479	3.5	15.3	538
26 生 産 用 機 械	73,487	7.6	14.9	553	76,229	7.7	13.2	540
27 業 務 用 機 械	16,362	1.7	11.4	443	14,993	1.5	11.0	399
28 電 子・デ バ イ ス	37,673	3.9	17.3	613	40,378	4.1	22.1	703
29 電 気 機 械	29,339	3.0	19.1	520	34,314	3.5	19.4	498
30 情 報 通 信 機 械	13,561	1.4	10.7	696	14,223	1.4	9.4	692
31 輸 送 用 機 械	16,009	1.7	20.7	445	20,587	2.1	17.3	485
32 そ の 他 製 造 業	15,595	1.6	12.7	370	15,701	1.6	12.7	389

(注1) 現金給与率＝現金給与総額÷(製造品出荷額等＋製造品在庫額年間増減＋半製品及び仕掛品在庫額年間増減

－推計酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税－推計消費税額)×100

常用労働者1人当たりの現金給与総額＝現金給与総額÷常用労働者数

(注2) 第10表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## 9 在庫額

### －年末在庫額は1兆2,100億円－

従業者30人以上の事業所の年末在庫総額は1兆2,100億円で、年初に比べ2,362億円(16.3%)減少しました。

#### (1) 産業中分類別の状況

産業中分類別に在庫総額の増減をみると、輸送用機械(13.6%)、情報通信機械(13.6%)、業務用機械(11.4%)等4業種で増加し、印刷(△42.3%)、石油・石炭(△37.0%)、家具・装備品(△27.5%)等20業種で減少しました。

#### (2) 製造品在庫率

製造品在庫額を出荷額との対比でとらえる製造品在庫率は4.0%でした。

製造品在庫率の高い業種は、なめし革(31.5%)、情報通信機械(8.1%)、化学(7.6%)の順となっており、低い業種は、印刷(0.5%)、家具・装備品(0.8%)、飲料・たばこ(1.1%)の順となっています。

第11表 産業中分類別在庫率

(金額：百万円)

区 分	在庫総額			製造品在庫額				半製品及び仕掛品の在庫額			原材料及び燃料の在庫額			
	年 末 在 庫	年 間 増減額	増減率 (%)	年 末 在 庫	年 間 増減額	増減率 (%)	製造品 在庫率 (%)	年 末 在 庫	年 間 増減額	増減率 (%)	年 末 在 庫	年 間 増減額	増減率 (%)	原材料 在庫率 (%)
総 数	1,209,960	△ 236,217	△ 16.3	428,641	△ 69,332	△ 13.9	4.0	338,296	△ 70,795	△ 17.3	443,023	△ 96,091	△ 17.8	7.9
09 食 料 品	82,462	△ 13,290	△ 13.9	25,502	△ 2,828	△ 10.0	1.8	15,571	△ 1,676	△ 9.7	41,390	△ 8,786	△ 17.5	5.0
10 飲 料・たばこ	12,455	△ 492	△ 3.8	4,238	△ 71	△ 1.7	1.1	2,901	△ 66	△ 2.2	5,316	△ 354	△ 6.2	5.3
11 織 維	1,646	3	0.2	885	△ 35	△ 3.9	7.5	441	16	3.7	320	23	7.8	10.6
12 木 材・木 製 品	3,490	△ 296	△ 7.8	1,390	549	65.2	3.1	478	△ 147	△ 23.5	1,622	△ 699	△ 30.1	6.0
13 家 具・装 備 品	2,713	△ 1,029	△ 27.5	711	△ 654	△ 47.9	0.8	779	50	6.9	1,224	△ 425	△ 25.8	3.8
14 パ ル プ・紙	7,594	△ 415	△ 5.2	3,468	6	0.2	3.0	2,177	△ 354	△ 14.0	1,949	△ 67	△ 3.3	3.5
15 印 刷	3,152	△ 2,309	△ 42.3	615	△ 1,765	△ 74.2	0.5	979	△ 478	△ 32.8	1,559	△ 66	△ 4.1	3.3
16 化 学	243,214	△ 36,473	△ 13.0	139,920	△ 31,198	△ 18.2	7.6	38,030	△ 3,417	△ 8.2	65,264	△ 1,857	△ 2.8	7.4
17 石 油・石 炭	204,290	△ 120,112	△ 37.0	75,682	△ 9,190	△ 10.8	2.8	69,010	△ 41,040	△ 37.3	59,598	△ 69,882	△ 54.0	3.6
18 プ ラ ス チ ッ ク	19,697	△ 5,489	△ 21.8	12,027	△ 2,364	△ 16.4	5.7	2,769	△ 1,866	△ 40.3	4,901	△ 1,259	△ 20.4	5.0
19 ゴ ム	1,389	△ 364	△ 20.8	805	△ 110	△ 12.1	4.2	321	△ 209	△ 39.4	263	△ 45	△ 14.5	5.5
20 な め し 革	1,421	△ 41	△ 2.8	1,149	△ 31	△ 2.7	31.5	94	△ 5	△ 4.8	178	△ 5	△ 2.9	19.6
21 窯 業・土 石 炭	21,142	△ 2,189	△ 9.4	13,359	△ 892	△ 6.3	6.9	4,279	△ 204	△ 4.6	3,504	△ 1,093	△ 23.8	5.0
22 鉄 鋼	310,320	△ 40,751	△ 11.6	70,745	△ 17,895	△ 20.2	5.5	76,191	△ 15,931	△ 17.3	163,384	△ 6,926	△ 4.1	19.9
23 非 鉄	39,982	△ 6,520	△ 14.0	9,475	382	4.2	2.5	18,064	△ 1,211	△ 6.3	12,444	△ 5,691	△ 31.4	5.1
24 金 属 製 品	46,829	△ 3,308	△ 6.6	18,749	△ 2,119	△ 10.2	3.8	14,642	167	1.2	13,438	△ 1,356	△ 9.2	7.3
25 は ん 用 機 械	20,664	△ 457	△ 2.2	3,821	△ 174	△ 4.4	2.3	10,961	△ 217	△ 1.9	5,883	△ 66	△ 1.1	8.0
26 生 産 用 機 械	57,930	△ 4,106	△ 6.6	13,530	△ 517	△ 3.7	3.2	33,315	△ 2,203	△ 6.2	11,085	△ 1,386	△ 11.1	6.1
27 業 務 用 機 械	27,797	2,844	11.4	4,477	△ 292	△ 6.1	3.3	8,730	1,109	14.6	14,590	2,026	16.1	33.6
28 電 子・デ バ イ ス	31,875	△ 1,761	△ 5.2	9,396	△ 2,914	△ 23.7	5.1	11,862	1,140	10.6	10,618	13	0.1	13.9
29 電 気 機 械	28,320	△ 434	△ 1.5	4,440	△ 757	△ 14.6	3.2	11,801	△ 1,122	△ 8.7	12,078	1,445	13.6	18.2
30 情 報 通 信 機 械	21,480	2,565	13.6	9,326	3,745	67.1	8.1	5,527	△ 830	△ 13.1	6,627	△ 350	△ 5.0	11.4
31 輸 送 用 機 械	8,587	1,028	13.6	2,117	△ 123	△ 5.5	3.6	3,187	95	3.1	3,284	1,056	47.4	12.0
32 そ の 他 製 造 業	11,509	△ 2,817	△ 19.7	2,817	△ 81	△ 2.8	2.6	6,188	△ 2,396	△ 27.9	2,504	△ 340	△ 12.0	4.3

(注1) 年間増減額＝年末在庫額－年初在庫額

増減率＝年間増減額÷年初在庫額×100

製造品在庫率＝年末製造品在庫額÷製造品出荷額等(従業者30人以上の事業所)×100

原材料在庫率＝年末原材料及び燃料の在庫額÷(原材料使用額+燃料使用額)×100

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## 10 工業用地

### —事業所敷地面積は6,764万㎡—

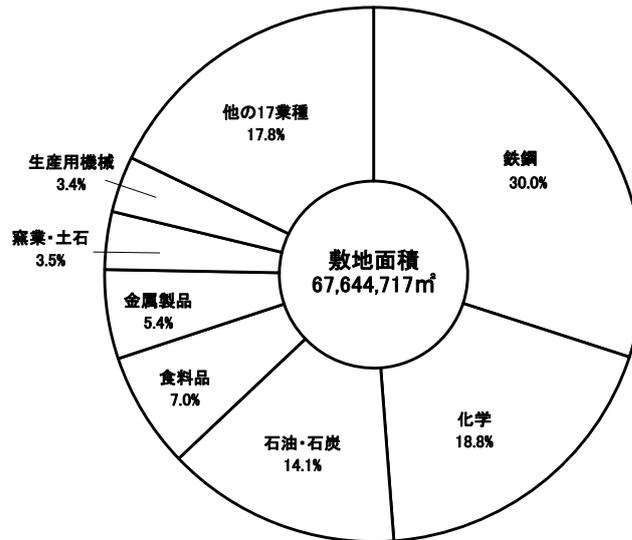
従業者30人以上の事業所の敷地面積は6,764万㎡でした。

なお、1事業所当たりの敷地面積は49,340㎡でした。

#### (1) 産業中分類別の状況

事業所敷地面積を産業中分類別構成比で見ると、鉄鋼(30.0%)が最も高く、次いで化学(18.8%)、石油・石炭(14.1%)の順となっています。

第15図 産業中分類別事業所敷地面積の構成比

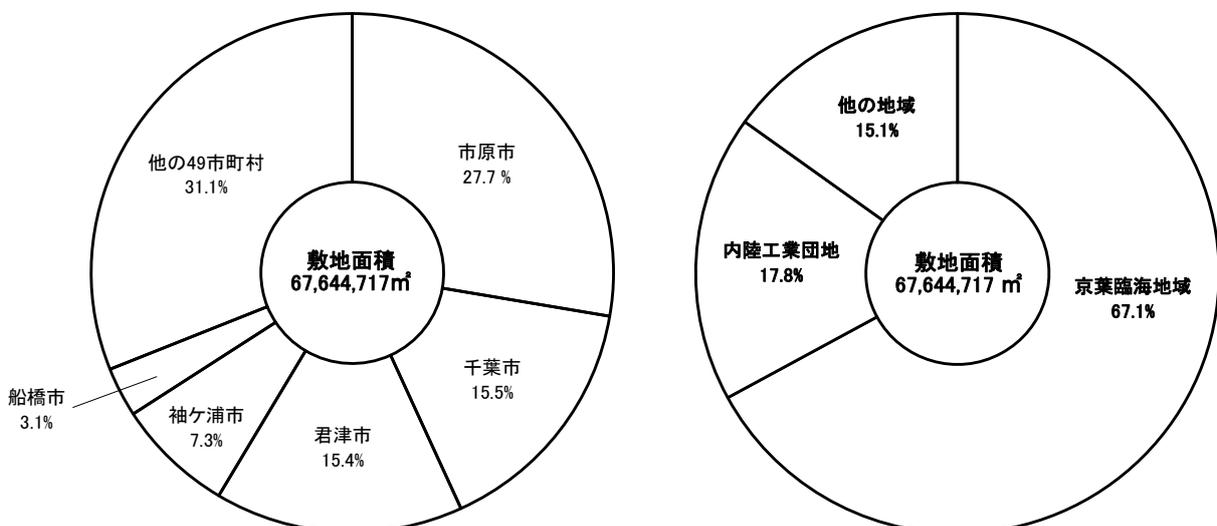


#### (2) 地域別の状況

事業所敷地面積の市町村別構成比を見ると、市原市(27.7%)が最も高く、次いで千葉市(15.5%)、君津市(15.4%)の順となっています。

なお、京葉臨海地域及び内陸工業団地は、県全体の事業所敷地面積のそれぞれ67.1%、17.8%を占めています。

第16図 地域別事業所敷地面積の構成比



## 11 工業用水

### － 1日当たり105万m<sup>3</sup>－

従業者30人以上の事業所の1日当たりの工業用水の使用量は105万m<sup>3</sup>でした。

なお、1事業所当たりの使用量は766m<sup>3</sup>でした。

第12表 1日当たり工業用水使用量 (水量:m<sup>3</sup>)

年次	総量	1事業所1日当たり使用量	
		工業用水道	
平成26年	1,102,688	748,696	899
平成27年	1,071,503	741,453	813
平成28年	1,081,783	770,541	843
平成29年	1,043,853	750,030	807
平成30年	1,080,472	784,216	805
平成31年・令和元年	1,077,815	766,070	809
令和2年	1,050,533	754,148	766

### (1) 産業中分類別の状況

産業中分類別構成比で見ると、淡水では、化学(33.7%)が最も高く、次いで鉄鋼(29.1%)となっており、この2業種で62.8%を占めています。

水源別にみると、工業用水道でも、化学(44.2%)が最も高く、次いで鉄鋼(28.0%)、石油・石炭(19.0%)の順となっています。また、上水道では、食料品(33.7%)が最も高く、次いで化学(10.0%)、飲料・たばこ(8.2%)の順となっており、井戸水でも、食料品(42.3%)が最も高く、次いで飲料・たばこ(13.2%)、化学(11.6%)の順となっています。

第13表 産業中分類別1日当たり工業用水使用量の構成比 (水量:m<sup>3</sup>、構成比:%)

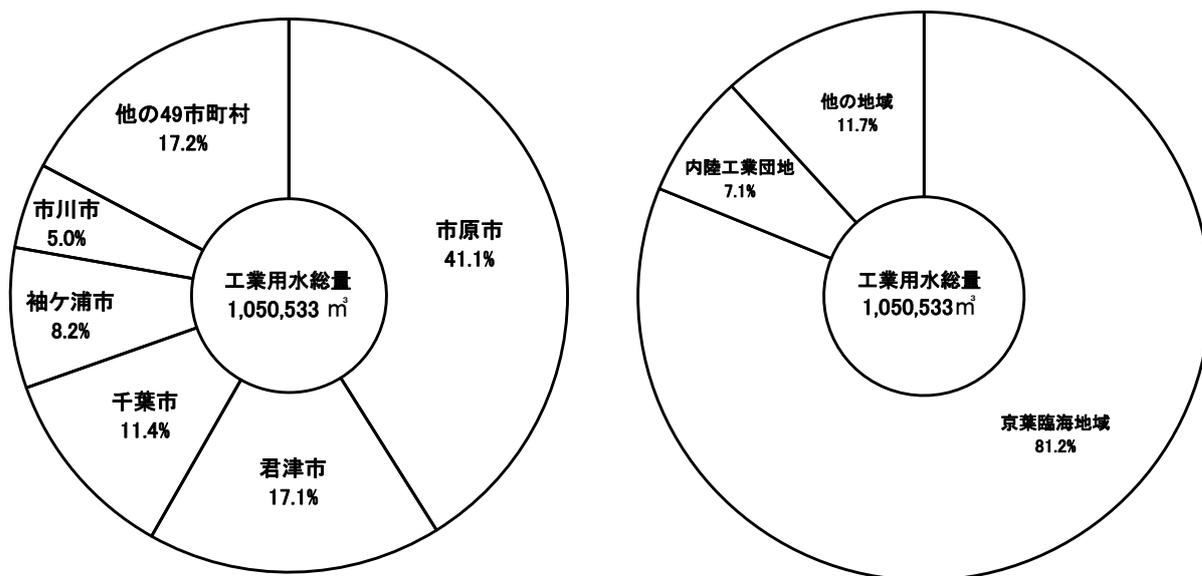
区分	淡 水									
	計		工業用水道		上水道		井戸水		その他淡水	
	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比	使用量	構成比
総数	1,050,533	100.0	754,148	100.0	69,572	100.0	75,041	100.0	151,772	100.0
09 食料品	91,255	8.7	33,220	4.4	23,456	33.7	31,708	42.3	2,871	1.9
10 飲料・たばこ	25,647	2.4	9,391	1.2	5,675	8.2	9,935	13.2	646	0.4
11 繊維	2,009	0.2	-	-	1,605	2.3	404	0.5	-	-
12 木材・木製品	1,976	0.2	1	0.0	1,897	2.7	78	0.1	-	-
13 家具・装備品	569	0.1	79	0.0	392	0.6	98	0.1	-	-
14 パルプ・紙	34,645	3.3	50	0.0	4,130	5.9	646	0.9	29,819	19.6
15 印刷	3,114	0.3	24	0.0	2,376	3.4	641	0.9	73	0.0
16 化学	354,009	33.7	333,475	44.2	6,930	10.0	8,694	11.6	4,910	3.2
17 石油・石炭	154,980	14.8	143,304	19.0	1,461	2.1	1,500	2.0	8,715	5.7
18 プラスチック	7,969	0.8	1,473	0.2	1,410	2.0	5,081	6.8	5	0.0
19 ゴム	517	0.0	51	0.0	179	0.3	287	0.4	-	-
20 なめし革	117	0.0	-	-	112	0.2	5	0.0	-	-
21 窯業・土石	15,488	1.5	8,489	1.1	1,091	1.6	5,733	7.6	175	0.1
22 鉄鋼	305,382	29.1	211,282	28.0	2,212	3.2	969	1.3	90,919	59.9
23 非鉄	8,716	0.8	4,894	0.6	298	0.4	2,886	3.8	638	0.4
24 金属製品	13,041	1.2	4,446	0.6	5,503	7.9	3,000	4.0	92	0.1
25 はん用機械	1,930	0.2	111	0.0	1,636	2.4	183	0.2	-	-
26 生産用機械	2,851	0.3	68	0.0	1,509	2.2	1,273	1.7	1	0.0
27 業務用機械	1,848	0.2	1	0.0	1,617	2.3	230	0.3	-	-
28 電子・デバイス	18,086	1.7	2,347	0.3	1,760	2.5	1,081	1.4	12,898	8.5
29 電気機械	3,340	0.3	1,147	0.2	2,080	3.0	113	0.2	-	-
30 情報通信機械	349	0.0	-	-	210	0.3	139	0.2	-	-
31 輸送用機械	1,359	0.1	247	0.0	979	1.4	133	0.2	-	-
32 その他製造業	1,336	0.1	48	0.0	1,054	1.5	224	0.3	10	0.0

## (2) 地域別の状況

市町村別構成比をみると、市原市(41.1%)が最も高く、以下、君津市(17.1%)、千葉市(11.4%)の順となっています。

なお、京葉臨海地域及び内陸工業団地は、県全体の工業用水使用量のそれぞれ81.2%、7.1%を占めています。

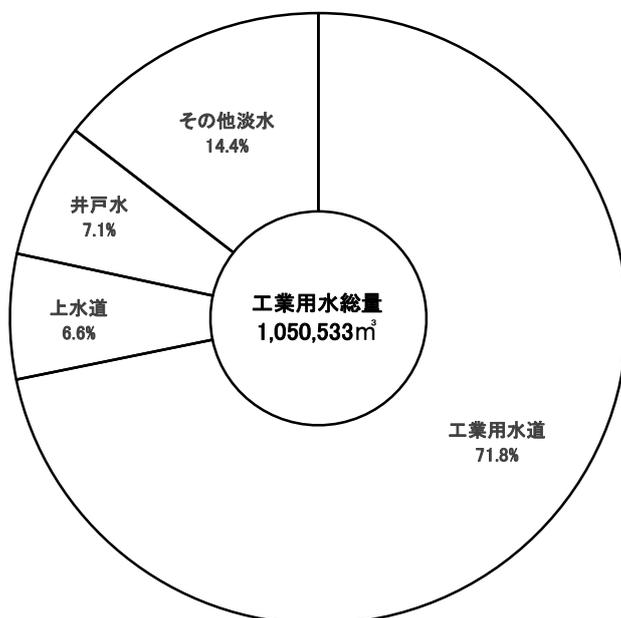
第17図 地域別1日当たり工業用水使用量の構成比



## (3) 水源別の状況

水源別用水量の内訳をみると、工業用水道が71.8%、上水道が6.6%、井戸水が7.1%、その他淡水が14.4%となっています。

第18図 水源別1日当たり工業用水使用量の構成比



## 12 京葉臨海地域

### －製造品出荷額等は県全体の58.5%－

京葉臨海地域の県全体に占める割合は第14表のとおり、事業所数は11.3%、従業者数は26.6%、製造品出荷額等は58.5%、付加価値額は43.9%、投資総額は75.6%となっています。

第14表 京葉臨海地域の主要項目結果表（県全体に占める割合）

年次	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 金額(百万円)	付加価値額 金額(百万円)	投資総額 金額(百万円)
平成26年	574	54,827	9,320,348	1,180,737	188,207
割合(%)	11.3	27.3	67.2	43.9	51.4
平成27年	604	57,077	7,869,358	1,007,804	276,575
割合(%)	11.8	28.4	62.1	38.6	60.3
平成28年	558	55,513	6,791,685	1,286,874	277,684
割合(%)	11.6	27.4	59.6	44.5	61.0
平成29年	562	57,547	7,383,075	1,543,892	250,382
割合(%)	11.8	27.7	60.9	48.1	53.5
平成30年	570	57,911	8,148,175	1,397,453	316,058
割合(%)	11.7	27.3	62.0	44.0	58.7
平成31年・令和元年	564	56,607	7,514,616	1,338,499	314,051
割合(%)	11.9	27.2	60.0	43.0	59.9
<b>令和2年</b>	<b>537</b>	<b>54,798</b>	<b>6,972,156</b>	<b>1,378,255</b>	<b>480,701</b>
<b>割合(%)</b>	<b>11.3</b>	<b>26.6</b>	<b>58.5</b>	<b>43.9</b>	<b>75.6</b>

(注1) 従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 投資総額は、従業者30人以上の事業所が対象です。

(注3) 第14表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注4) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

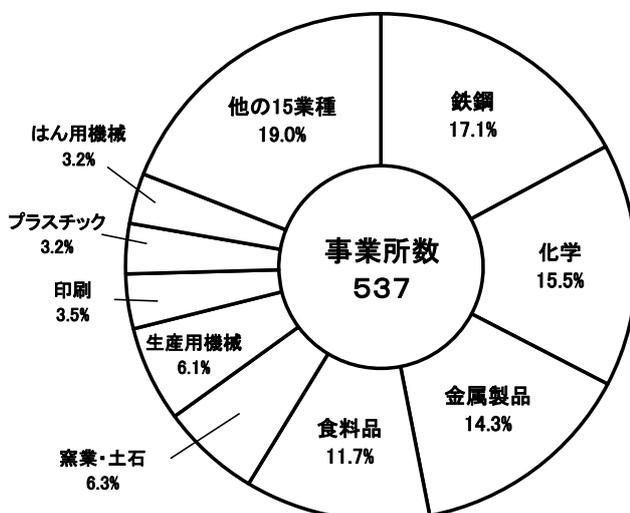
### (1) 事業所数

従業者4人以上の事業所数は537事業所でした。

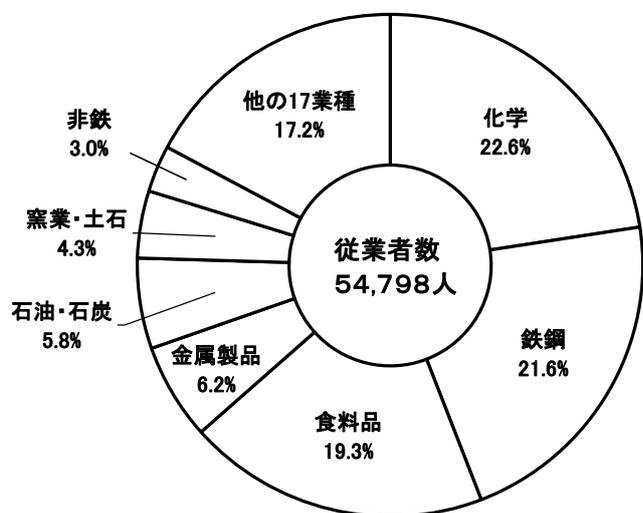
産業中分類別構成比でみると、第15表のとおり、鉄鋼(17.1%)が最も高く、次いで化学(15.5%)、金属製品(14.3%)の順となっています。

従業者規模別構成比でみると、第22図のとおり小規模事業所46.7%、中規模事業所45.8%、大規模事業所7.4%となっています。

第19図 産業中分類別事業所数の構成比



第20図 産業中分類別従業者数の構成比



## (2) 従業者数

従業者4人以上の事業所の従業者数は54,798人でした。

産業中分類別構成比でみると、第15表のとおり、化学(22.6%)が最も高く、次いで鉄鋼(21.6%)、食料品(19.3%)の順となっています。

従業者規模別の構成比は、第21図のとおり、小規模事業所6.9%、中規模事業所41.5%、大規模事業所51.6%となっています。

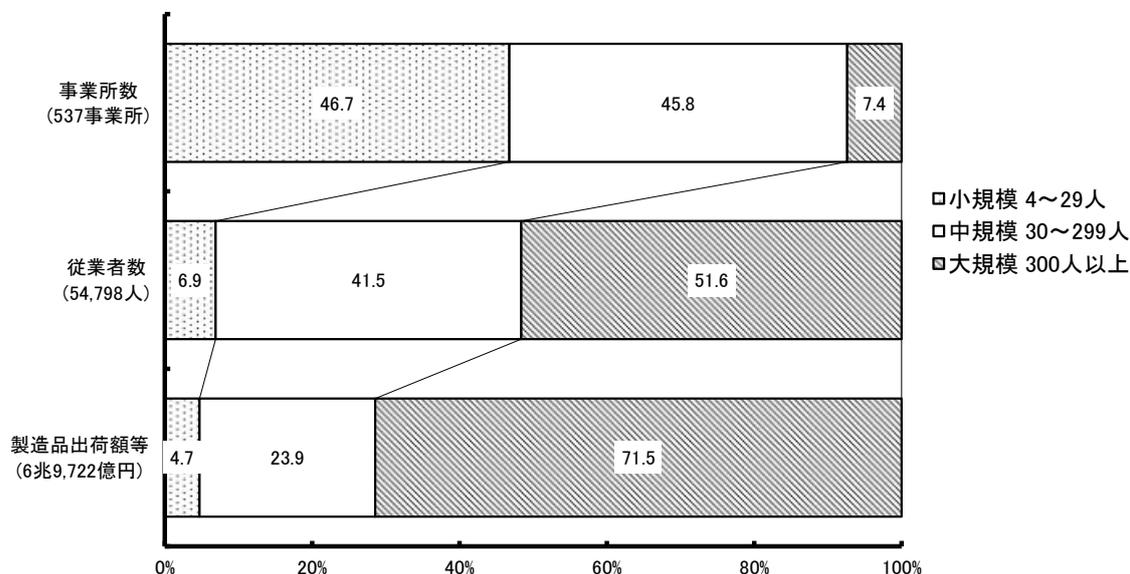
第15表 産業中分類別事業所数、従業者数

区 分	令和2年				【参考】平成31年・令和元年			
	事業所数	構成比	従業者数 (人)	構成比	事業所数	構成比	従業者数 (人)	構成比
総 数	537	100.0	54,798	100.0	564	100.0	56,607	100.0
09 食 料 品	63	11.7	10,586	19.3	68	12.1	10,577	18.7
10 飲料・たばこ	9	1.7	513	0.9	10	1.8	563	1.0
11 織 維	2	0.4	66	0.1	1	0.2	37	0.1
12 木材・木製品	14	2.6	638	1.2	15	2.7	677	1.2
13 家具・装備品	1	0.2	10	0.0	2	0.4	34	0.1
14 パルプ・紙	4	0.7	192	0.4	4	0.7	178	0.3
15 印 刷	19	3.5	683	1.2	17	3.0	605	1.1
16 化 学	83	15.5	12,365	22.6	85	15.1	12,672	22.4
17 石油・石炭	13	2.4	3,198	5.8	11	2.0	2,483	4.4
18 プラスチック	17	3.2	935	1.7	14	2.5	880	1.6
19 ゴ ム	4	0.7	59	0.1	4	0.7	57	0.1
20 な め し 革	1	0.2	28	0.1	-	-	-	-
21 窯業・土石	34	6.3	2,371	4.3	33	5.9	2,052	3.6
22 鉄 鋼	92	17.1	11,824	21.6	100	17.7	12,524	22.1
23 非 鉄	9	1.7	1,634	3.0	9	1.6	1,647	2.9
24 金 属 製 品	77	14.3	3,396	6.2	80	14.2	3,755	6.6
25 は ん 用 機 械	17	3.2	1,584	2.9	15	2.7	1,702	3.0
26 生産用機械	33	6.1	1,028	1.9	39	6.9	1,417	2.5
27 業務用機械	4	0.7	127	0.2	5	0.9	156	0.3
28 電子・デバイス	5	0.9	784	1.4	4	0.7	768	1.4
29 電 気 機 械	13	2.4	804	1.5	13	2.3	844	1.5
30 情報通信機械	2	0.4	1,217	2.2	4	0.7	1,288	2.3
31 輸送用機械	15	2.8	511	0.9	21	3.7	1,386	2.4
32 その他製造業	6	1.1	245	0.4	10	1.8	305	0.5

(注1) 第15表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

第21図 従業者規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比



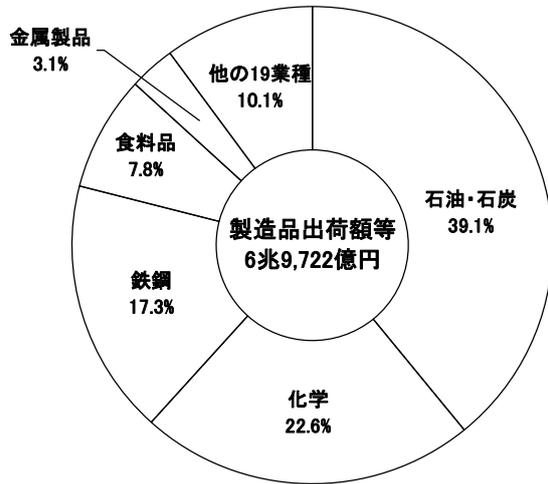
### (3) 製造品出荷額等

従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等は6兆9,722億円でした。

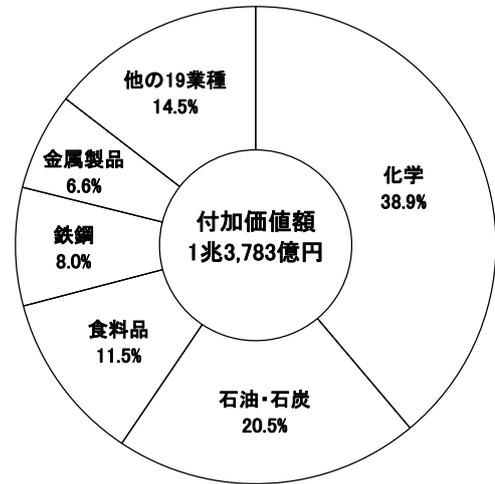
産業中分類別構成比でみると、第16表のとおり、石油・石炭(39.1%)が最も高く、次いで化学(22.6%)、鉄鋼(17.3%)の順となっています。

従業者規模別の構成比は、第21図のとおり、小規模事業所4.7%、中規模事業所23.9%、大規模事業所71.5%となっています。

第22図 産業中分類別製造品出荷額等の構成比



第23図 産業中分類別付加価値額の構成比



### (4) 付加価値額

従業者4人以上の事業所の付加価値額は1兆3,783億円でした。

産業中分類別構成比でみると、第16表のとおり、化学(38.9%)が最も高く、次いで石油・石炭(20.5%)、食料品(11.5%)の順となっています。

第16表 産業中分類別製造品出荷額等、付加価値額

区分	令和2年				【参考】平成31年・令和元年			
	製造品出荷額等		付加価値額		製造品出荷額等		付加価値額	
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)
総数	6,972,156	100.0	1,378,255	100.0	7,514,616	100.0	1,338,499	100.0
09 食料品	541,963	7.8	158,392	11.5	568,762	7.6	154,247	11.5
10 飲料・たばこ	115,497	1.7	40,268	2.9	131,752	1.8	49,584	3.7
11 繊維	X	X	X	X	X	X	X	X
12 木材・木製品	30,160	0.4	8,008	0.6	36,030	0.5	8,802	0.7
13 家具・装備品	X	X	X	X	X	X	X	X
14 パルプ・紙	3,006	0.0	1,182	0.1	2,621	0.0	666	0.0
15 印刷	15,329	0.2	9,691	0.7	17,352	0.2	11,617	0.9
16 化学	1,573,245	22.6	535,903	38.9	1,727,634	23.0	541,161	40.4
17 石油・石炭	2,723,565	39.1	282,386	20.5	2,807,101	37.4	132,984	9.9
18 プラスチック	44,223	0.6	13,170	1.0	40,859	0.5	13,930	1.0
19 ゴム	1,239	0.0	396	0.0	2,250	0.0	572	0.0
20 なめし革	X	X	X	X	-	-	-	-
21 窯業・土石	126,150	1.8	39,527	2.9	126,043	1.7	43,729	3.3
22 鉄鋼	1,209,007	17.3	110,942	8.0	1,411,648	18.8	170,393	12.7
23 非鉄	68,192	1.0	19,187	1.4	56,153	0.7	18,057	1.3
24 金属製品	218,403	3.1	90,494	6.6	225,085	3.0	101,986	7.6
25 はん用機械	89,188	1.3	39,216	2.8	85,636	1.1	37,260	2.8
26 生産用機械	22,055	0.3	9,105	0.7	40,554	0.5	16,004	1.2
27 業務用機械	2,372	0.0	1,252	0.1	3,651	0.0	1,830	0.1
28 電子・デバイス	75,201	1.1	12,360	0.9	50,593	0.7	9,464	0.7
29 電気機械	21,763	0.3	1,985	0.1	19,204	0.3	3,524	0.3
30 情報通信機械	X	X	X	X	90,667	1.2	5,027	0.4
31 輸送用機械	12,012	0.2	5,271	0.4	62,209	0.8	13,990	1.0
32 その他製造業	6,520	0.1	4,052	0.3	6,074	0.1	3,055	0.2

(注1) 従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 第16表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

## (5) 投資総額

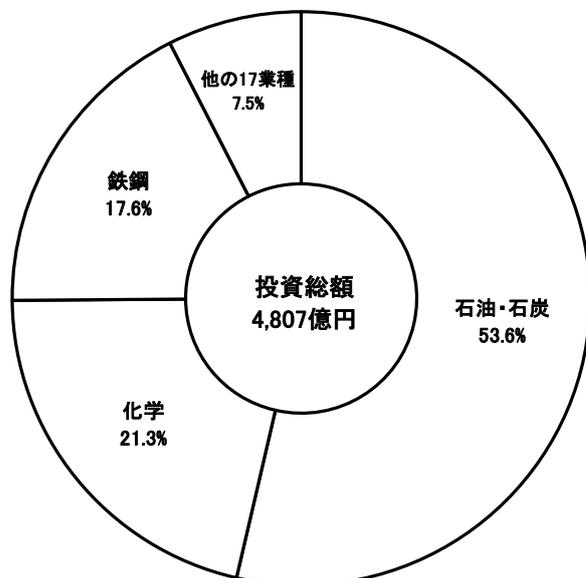
従業者30人以上の事業所の投資総額は4,807億円でした。

産業中分類別構成比でみると、第17表のとおり、石油・石炭(53.6%)が最も高く、次いで化学(21.3%)、鉄鋼(17.6%)の順となっています。

第17表 産業中分類別投資総額

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	投資総額 (百万円)	構成比(%)	投資総額 (百万円)	構成比(%)
総 数	480,701	100.0	314,051	100.0
09 食 料 品	12,237	2.5	26,360	8.4
10 飲料・たばこ	727	0.2	963	0.3
11 織 維	-	-	-	-
12 木材・木製品	410	0.1	453	0.1
13 家具・装備品	-	-	-	-
14 パルプ・紙	287	0.1	191	0.1
15 印 刷	492	0.1	61	0.0
16 化 学	102,441	21.3	112,270	35.7
17 石油・石炭	257,645	53.6	28,988	9.2
18 プラスチック	1,147	0.2	2,397	0.8
19 ゴ ム	-	-	-	-
20 な め し 革	-	-	-	-
21 窯業・土石	3,727	0.8	9,118	2.9
22 鉄 鋼	84,407	17.6	104,236	33.2
23 非 鉄	3,462	0.7	6,934	2.2
24 金 属 製 品	4,414	0.9	9,265	3.0
25 は ん 用 機 械	645	0.1	1,903	0.6
26 生 産 用 機 械	580	0.1	1,317	0.4
27 業 務 用 機 械	X	X	X	X
28 電 子 ・ テ ギ ャ イ ス	2,555	0.5	3,164	1.0
29 電 気 機 械	3,895	0.8	2,196	0.7
30 情 報 通 信 機 械	X	X	X	X
31 輸 送 用 機 械	△ 17	0.0	1,332	0.4
32 その他製造業	X	X	128	0.0

第24図 産業中分類別投資総額の構成比

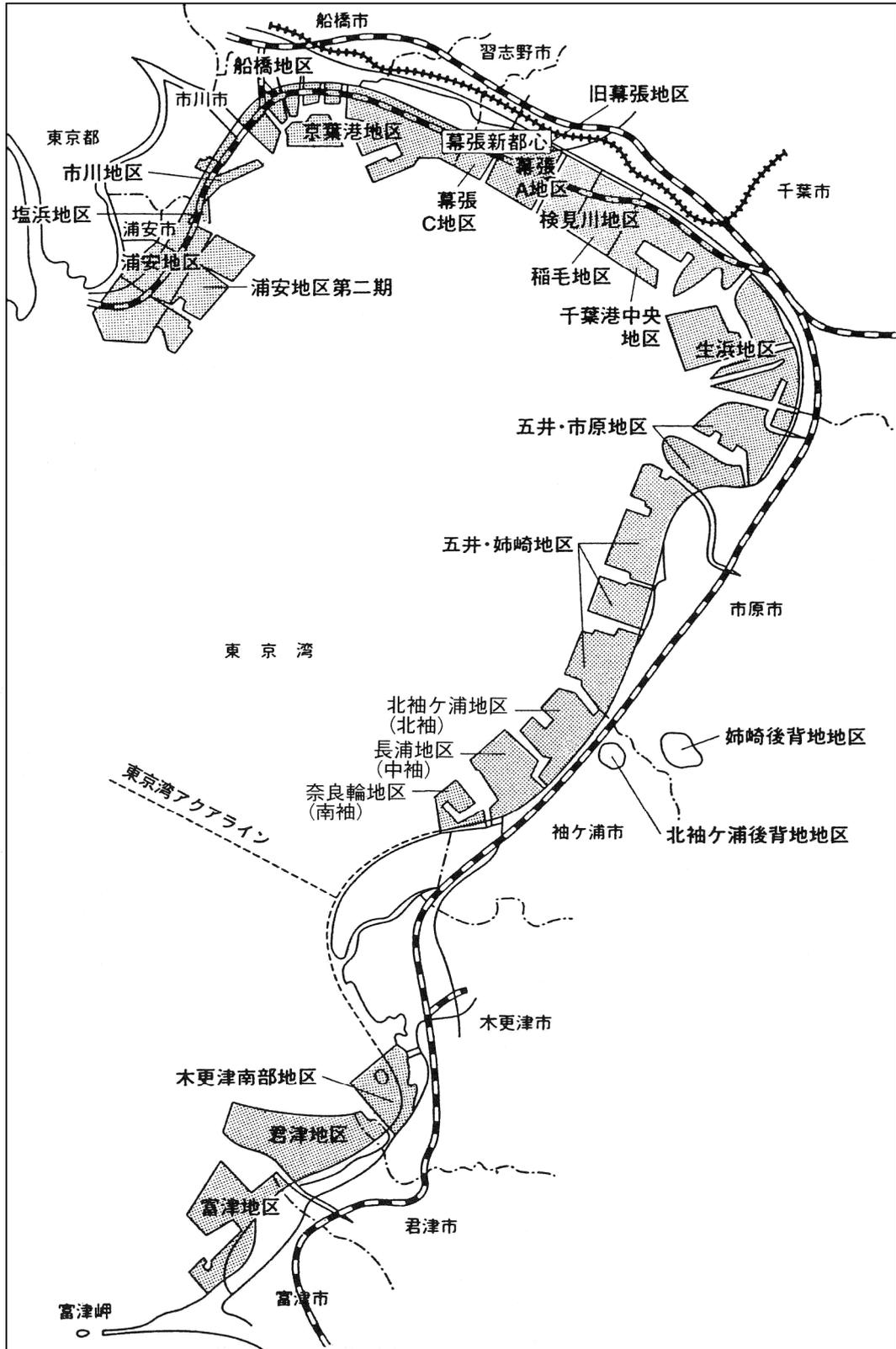


(注1) 第17表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

# 京葉臨海地域図

千葉市、市川市、船橋市、木更津市、習志野市、市原市、  
君津市、富津市、浦安市、袖ヶ浦市の臨海埋立地



### 13 内陸工業団地

#### －製造出荷額等は県全体の21.0%－

内陸工業団地(集計85団地)の県全体に占める割合は第18表のとおり、事業所数17.9%、従業者数31.8%、製造品出荷額等21.0%、付加価値額27.0%、投資総額11.5%となっています。

第18表 内陸工業団地の主要項目結果表(県全体に占める割合)

年次	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(百万円)	付加価値額(百万円)	投資総額(百万円)
平成26年	900	62,110	2,351,216	804,430	87,332
割合(%)	17.6	30.9	16.9	29.9	23.8
平成27年	936	63,805	2,471,223	843,341	87,644
割合(%)	16.9	31.0	19.5	32.3	19.1
平成28年	911	65,970	2,401,685	851,328	85,731
割合(%)	18.9	32.5	21.1	29.4	18.8
平成29年	906	65,157	2,454,842	868,753	104,758
割合(%)	19.0	31.4	20.2	27.0	22.4
平成30年	926	66,281	2,550,676	896,154	107,314
割合(%)	19.1	31.3	19.4	28.2	19.9
平成31年・令和元年	927	68,035	2,597,001	893,317	100,061
割合(%)	19.5	32.6	20.7	28.7	19.1
<b>令和2年</b>	<b>851</b>	<b>65,606</b>	<b>2,502,878</b>	<b>847,991</b>	<b>73,126</b>
<b>割合(%)</b>	<b>17.9</b>	<b>31.8</b>	<b>21.0</b>	<b>27.0</b>	<b>11.5</b>

(注1) 従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 投資総額は、従業者30以上の事業所が対象です。

(注3) 第18表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注4) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

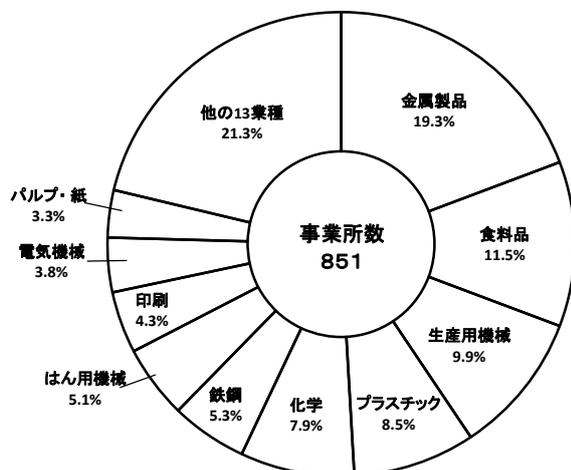
#### (1) 事業所数

従業者4人以上の事業所数は851事業所でした。

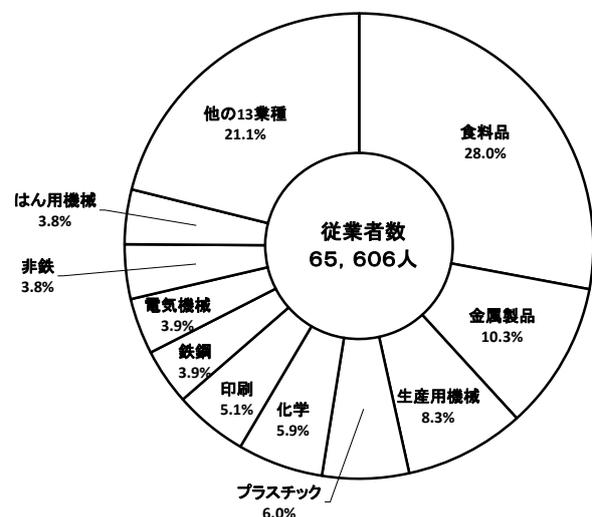
産業中分類別構成比でみると、第19表のとおり、金属製品(19.3%)が最も高く、次いで食料品(11.5%)、生産用機械(9.9%)の順となっています。

従業者規模別の構成比は、第27図のとおり、小規模事業所45.2%、中規模事業所50.4%大規模事業所4.3%となっています。

第25図 産業中分類別事業所数の構成比



第26図 産業中分類別従業者数の構成比



(2) 従業者数

従業者4人以上の事業所の従業者数は65,606人でした。

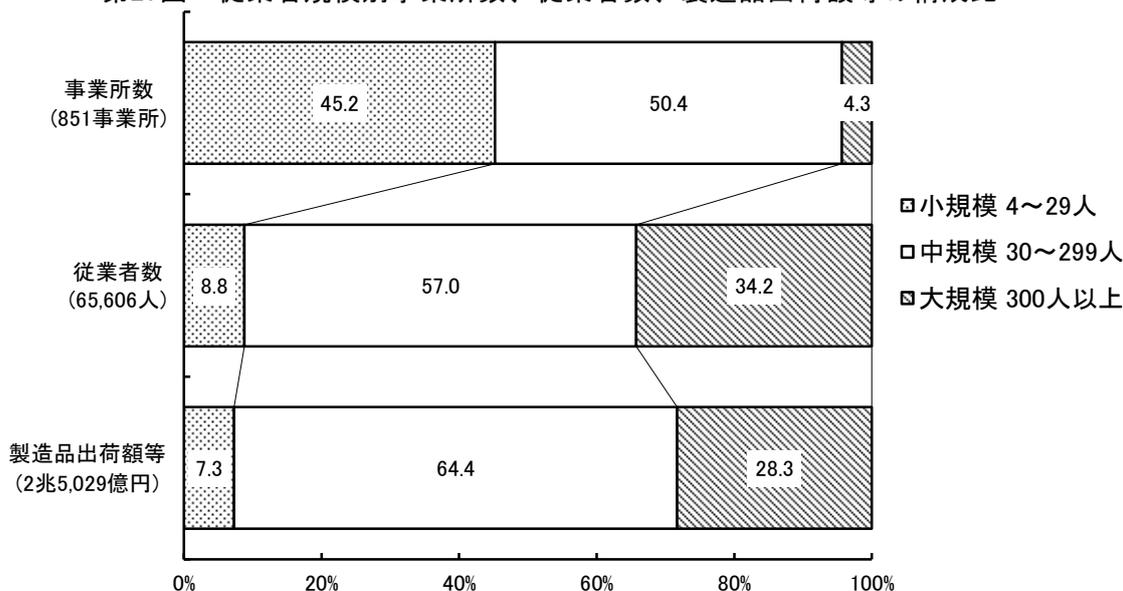
産業中分類別構成比でみると、第19表のとおり、食料品(28.0%)が最も高く、次いで金属製品(10.3%)、生産用機械(8.3%)の順となっています。

従業者規模別の構成比は、第27図のとおり、小規模事業所8.8%、中規模事業所57.0%、大規模事業所34.2%となっています。

第19表 産業中分類別事業所数、従業者数

区 分	令和2年				【参考】平成31年・令和2年			
	事業所数	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	事業所数	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)
総 数	851	100.0	65,606	100.0	927	100.0	68,035	100.0
09 食 料 品	98	11.5	18,349	28.0	103	11.1	17,428	25.6
10 飲料・たばこ	11	1.3	1,525	2.3	12	1.3	1,710	2.5
11 織 維	5	0.6	381	0.6	5	0.5	421	0.6
12 木材・木製品	10	1.2	331	0.5	10	1.1	313	0.5
13 家具・装備品	11	1.3	1,405	2.1	13	1.4	1,548	2.3
14 パルプ・紙	28	3.3	1,800	2.7	30	3.2	1,948	2.9
15 印 刷	37	4.3	3,351	5.1	36	3.9	2,123	3.1
16 化 学	67	7.9	3,855	5.9	71	7.7	4,069	6.0
17 石油・石炭	6	0.7	237	0.4	8	0.9	249	0.4
18 プラスチック	72	8.5	3,961	6.0	85	9.2	4,271	6.3
19 ゴ ム	15	1.8	553	0.8	13	1.4	573	0.8
20 な め し 革	-	-	-	-	-	-	-	-
21 窯 業 ・ 土 石	25	2.9	1,836	2.8	31	3.3	1,980	2.9
22 鉄 鋼	45	5.3	2,581	3.9	51	5.5	3,354	4.9
23 非 鉄	25	2.9	2,502	3.8	26	2.8	2,773	4.1
24 金 属 製 品	164	19.3	6,730	10.3	176	19.0	7,690	11.3
25 は ん 用 機 械	43	5.1	2,466	3.8	47	5.1	2,678	3.9
26 生 産 用 機 械	84	9.9	5,427	8.3	96	10.4	6,169	9.1
27 業 務 用 機 械	18	2.1	1,318	2.0	20	2.2	1,669	2.5
28 電 子 ・ デ バ イ	12	1.4	1,787	2.7	11	1.2	1,502	2.2
29 電 気 機 械	32	3.8	2,563	3.9	38	4.1	2,941	4.3
30 情 報 通 信 機 械	3	0.4	174	0.3	2	0.2	94	0.1
31 輸 送 用 機 械	21	2.5	1,088	1.7	24	2.6	1,174	1.7
32 そ の 他 製 造 業	19	2.2	1,386	2.1	19	2.0	1,358	2.0

第27図 従業者規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比



(注1) 第19表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

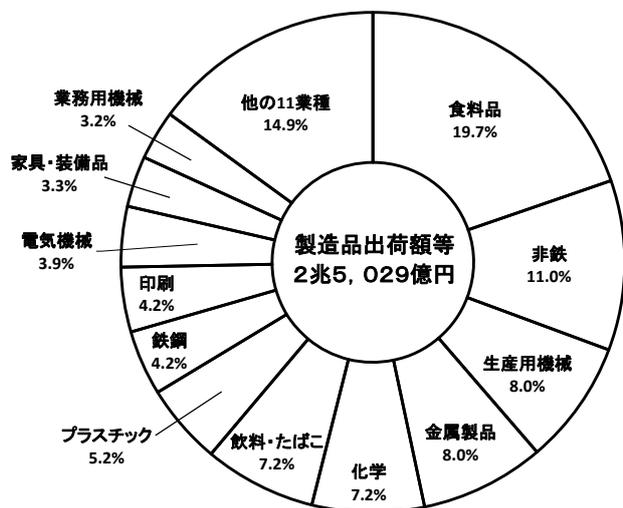
### (3) 製造品出荷額等

従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等は2兆5,029億円でした。

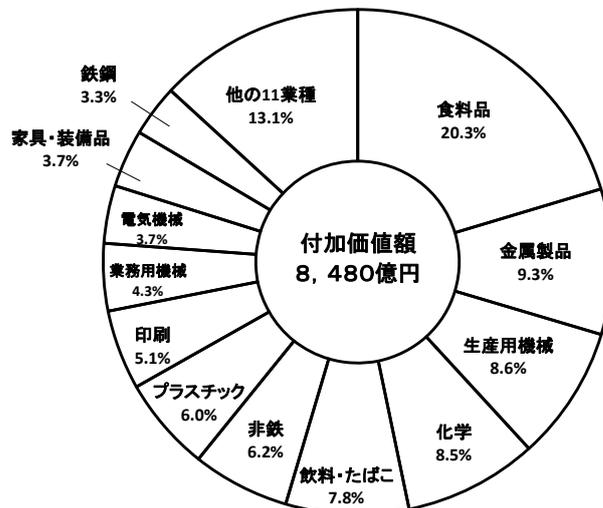
産業中分類別構成比でみると、第20表のとおり、食料品(19.7%)が最も高く、次いで非鉄(11.0%)、生産用機械(8.0%)の順となっています。

従業者規模別の構成比は、第27図のとおり、小規模事業所7.3%、中規模事業所64.4%、大規模事業所28.3%となっています。

第28図 産業中分類別製造品出荷額等の構成比



第29図 産業中分類別付加価値額の構成比



### (4) 付加価値額

従業者4人以上の事業所の付加価値額は8,480億円でした。

産業中分類別構成比でみると、第20表のとおり、食料品(20.3%)が最も高く、次いで金属製品(9.3%)、生産用機械(8.6%)の順となっています。

第20表 産業中分類別製造品出荷額、付加価値額

区分	令和2年				【参考】平成31年・令和元年			
	製造品出荷額等		付加価値額		製造品出荷額等		付加価値額	
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)
総数	2,502,878	100.0	847,991	100.0	2,597,001	100.0	893,317	100.0
09 食料品	493,408	19.7	172,483	20.3	486,734	18.7	163,396	18.3
10 飲料・たばこ	178,980	7.2	66,326	7.8	175,108	6.7	70,210	7.9
11 繊維	8,406	0.3	5,772	0.7	X	X	X	X
12 木材・木製品	13,376	0.5	3,302	0.4	14,325	0.6	3,469	0.4
13 家具・装備品	82,077	3.3	31,573	3.7	77,650	3.0	28,718	3.2
14 パルプ・紙	66,749	2.7	21,516	2.5	68,607	2.6	23,581	2.6
15 印刷	104,212	4.2	42,851	5.1	55,385	2.1	22,482	2.5
16 化学	179,939	7.2	72,088	8.5	203,968	7.9	87,433	9.8
17 石油・石炭	7,078	0.3	1,758	0.2	9,880	0.4	3,990	0.4
18 プラスチック	131,309	5.2	50,853	6.0	147,324	5.7	53,608	6.0
19 ゴム	18,422	0.7	7,932	0.9	11,236	0.4	5,133	0.6
20 なめし革	-	-	-	-	-	-	-	-
21 窯業・土石	52,378	2.1	22,580	2.7	66,013	2.5	31,325	3.5
22 鉄鋼	104,857	4.2	27,724	3.3	135,445	5.2	38,617	4.3
23 非鉄	276,062	11.0	52,166	6.2	212,414	8.2	41,826	4.7
24 金属製品	199,962	8.0	78,938	9.3	244,413	9.4	88,091	9.9
25 はん用機械	64,720	2.6	16,173	1.9	94,578	3.6	32,559	3.6
26 生産用機械	201,345	8.0	73,037	8.6	245,060	9.4	87,892	9.8
27 業務用機械	79,665	3.2	36,734	4.3	82,776	3.2	36,423	4.1
28 電子・デバイス	43,607	1.7	14,803	1.7	37,319	1.4	8,296	0.9
29 電気機械	97,141	3.9	31,750	3.7	115,132	4.4	38,605	4.3
30 情報通信機械	2,698	0.1	653	0.1	X	X	X	X
31 輸送用機械	28,219	1.1	5,408	0.6	31,591	1.2	9,435	1.1
32 その他製造業	68,266	2.7	11,572	1.4	73,924	2.8	14,531	1.6

(注1) 従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして計算しています。

(注2) 第20表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注3) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

### (5) 投資総額

従業者30人以上の事業所の投資総額は731億円でした。

産業中分類別構成比でみると、第21表のとおり、化学(22.7%)が最も高く、次いで食料品(10.5%)、金属製品(9.9%)の順となっています。

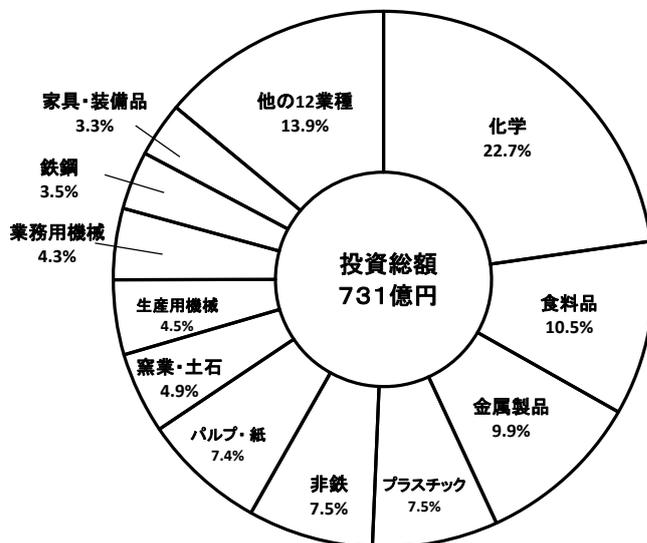
第21表 産業中分類別投資総額

区 分	令和2年		【参考】平成31年・令和元年	
	投資総額 (百万円)	構成比(%)	投資総額 (百万円)	構成比(%)
総 数	73,126	100.0	100,061	100.0
09 食 料 品	7,688	10.5	16,319	16.3
10 飲料・たばこ	1,939	2.7	4,258	4.3
11 織 維	X	X	X	X
12 木材・木製品	76	0.1	174	0.2
13 家具・装備品	2,402	3.3	2,191	2.2
14 パルプ・紙	5,431	7.4	2,590	2.6
15 印 刷	1,473	2.0	1,170	1.2
16 化 学	16,569	22.7	14,077	14.1
17 石油・石炭	X	X	X	X
18 プラスチック	5,507	7.5	4,616	4.6
19 ゴ ム	333	0.5	355	0.4
20 な め し 革	-	-	-	-
21 窯業・土石	3,605	4.9	3,037	3.0
22 鉄 鋼	2,595	3.5	5,498	5.5
23 非 鉄	5,461	7.5	6,936	6.9
24 金 属 製 品	7,238	9.9	9,847	9.8
25 は ん 用 機 械	1,547	2.1	1,651	1.6
26 生 産 用 機 械	3,322	4.5	10,832	10.8
27 業 務 用 機 械	3,146	4.3	2,027	2.0
28 電 子 ・ テ ー パ イ ス	729	1.0	3,231	3.2
29 電 気 機 械	1,491	2.0	1,636	1.6
30 情 報 通 信 機 械	22	0.0	X	X
31 輸 送 用 機 械	429	0.6	1,500	1.5
32 その他製造業	1,978	2.7	6,413	6.4

(注1) 第21表の「年次」については、「事業所数、従業者数」と経理事項では調査時点が異なるため、経理事項の年に統一しています。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です(利用上の注意参照)。

第30図 産業中分類別投資総額の構成比



## (6) 工業団地別の状況

工業団地別にみると、事業所数では、市原特別工業団地（第一地区）が35事業所と最も多く、以下、八千代工業団地34事業所、松飛台工業団地29事業所の順となっています。

従業者数では、上高野工業団地が4,867人と最も多く、以下、習志野工業団地4,513人、佐倉第三工業団地3,100人の順となっています。

製造品出荷額等では、北松戸工業団地が2,150億円と最も多く、以下、関宿はやま工業団地1,912億円、習志野工業団地1,348億円の順となっています。

(注1) ( )内は前年順位。

(注2) 時系列比較を行う際には留意が必要です（利用上の注意参照）。

(注3) 工業団地名については、市町村からの報告に基づく名称を使用しています。

### 第22表 内陸工業団地別主要項目ベスト10

《事業所数》 表22-1

順位	工業団地名	事業所
1(2)	市原特別工業団地(第一地区)	35
2(1)	八千代工業団地	34
3(3)	松飛台工業団地	29
4(5)	佐倉第三工業団地	26
5(4)	北松戸工業団地	25
5(6)	南部工業団地	25
7(8)	白井第二工業団地	23
8(6)	上高野工業団地	22
8(8)	吉橋工業団地	22
8(10)	習志野工業団地	22

《従業者数》 表22-2

順位	工業団地名	人
1(2)	上高野工業団地	4,867
2(1)	習志野工業団地	4,513
3(3)	佐倉第三工業団地	3,100
4(4)	北松戸工業団地	3,028
5(5)	佐倉第一工業団地	2,157
6(15)	南習志野工業団地	2,153
7(6)	八千代工業団地	2,061
8(9)	南部工業団地	1,808
9(8)	佐倉第二工業団地	1,687
10(10)	吉橋工業団地	1,615

《製造品出荷額等》 表22-3

順位	工業団地名	百万円
1(1)	北松戸工業団地	215,036
2(4)	関宿はやま工業団地	191,156
3(2)	習志野工業団地	134,797
4(3)	佐倉第三工業団地	131,960
5(5)	上高野工業団地	101,056
6(8)	佐倉第一工業団地	77,723
7(13)	南習志野工業団地	73,391
8(7)	南部工業団地	64,954
9(10)	中里工業団地	63,945
10(9)	吉橋工業団地	60,865



## 14 千葉県工業の位置

経済産業省公表の令和3年経済センサス-活動調査(製造業)によると、全国の従業者数4人以上の事業所数は17万6,858事業所、従業者数は747万人、製造品出荷額等は302兆33億円で、千葉県はそれぞれ2.7%、2.8%、3.9%を占めています。

### (1) 千葉県の順位

都道府県別では、**事業所数は**愛知、大阪、埼玉、東京、静岡の順で**千葉県は15位**(前年14位)、**従業者数は**愛知、大阪、静岡、埼玉、神奈川の順で**千葉県は12位**(前年12位)、**製造品出荷額等は**愛知、大阪、静岡、神奈川、兵庫の順で**千葉県は8位**(前年8位)でした。

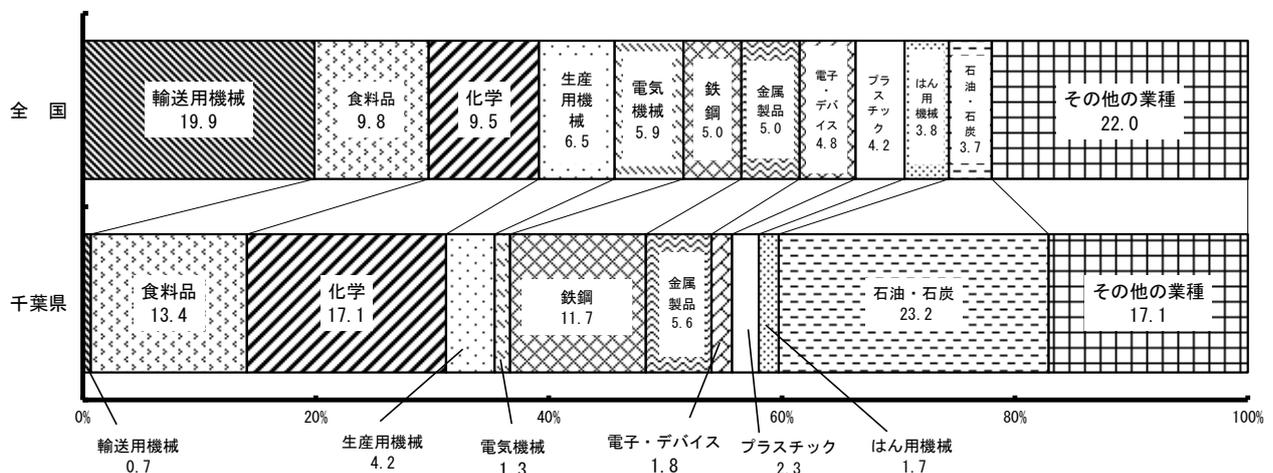
製造品出荷額等の産業中分類別構成比をみると、全国では輸送用機械が19.9%を占め最も高く、次いで食料品(9.8%)、化学(9.5%)の順となっています。

本県では、石油・石炭が23.2%を占め、次いで化学(17.1%)、食料品(13.4%)の順となっています。

第23表 都道府県の順位(上位)

順位	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	都道府県		都道府県	人	都道府県	金額(百万円)
1	愛知	14,593	愛知	807,694	愛知	43,987,965
2	大阪	14,412	大阪	417,816	大阪	16,975,793
3	埼玉	10,102	静岡	401,827	静岡	16,451,286
4	東京	9,738	埼玉	379,482	神奈川	15,835,278
5	静岡	8,602	神奈川	348,312	兵庫	15,249,899
6	神奈川	7,202	兵庫	347,873	埼玉	12,862,957
7	兵庫	7,106	茨城	264,266	茨城	12,177,310
8	岐阜	5,298	東京	238,817	<b>千葉</b>	<b>11,926,431</b>
9	福岡	5,094	福岡	220,530	三重	10,491,865
10	北海道	5,072	群馬	212,329	福岡	8,951,854
11	長野	4,825	広島	207,756	広島	8,869,857
12	新潟	4,822	<b>千葉</b>	<b>206,017</b>	栃木	8,235,252
13	茨城	4,813	三重	201,632	群馬	7,888,919
14	広島	4,812	岐阜	199,058	滋賀	7,597,075
15	<b>千葉</b>	<b>4,748</b>	長野	198,141	東京	7,080,474
	全国	176,858	全国	7,465,556	全国	302,003,273

第31図 産業中分類別全国と千葉県の製造品出荷額等の構成比



(注)第23表、第31図は経済産業省公表の令和3年経済センサス-活動調査(製造業)による。  
(従業者4人以上の事業所)

## (2) 業種別の全国順位

業種別製造品出荷額等の全国順位をみると、石油・石炭が全国の24.9%を占め1位となっているほか、化学(3位・7.1%)、鉄鋼(3位・9.2%)が上位となっています。

一方、輸送用機械(37位・0.1%)、電子・デバイス(35位・1.5%)が低い順位になっています。

全国の主要業種である輸送用機械、食料品、化学について、本県での状況をみると、それぞれ0.1%(37位)、5.4%(5位)、7.1%(3位)となっています。

なお、輸送用機械については自動車組立産業が少ないため、構成比は特に低くなっています。

第24表 産業中分類別全国順位と千葉県の割合(%)

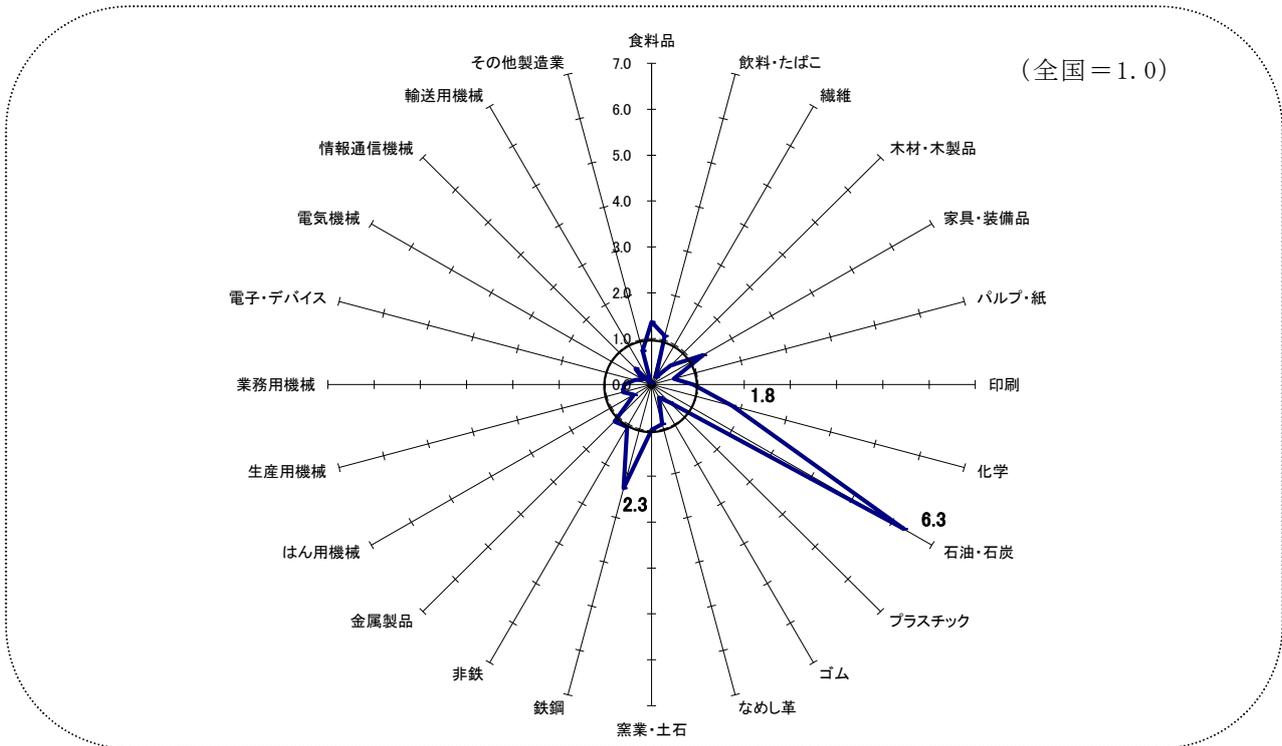
区 分	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(金額:百万円)		
	順位	実数	割合	順位	実数	割合	順位	実数	割合
総 数	15	4,748	2.7	12	206,017	2.8	8	11,926,431	3.9
09 食 料 品	8	715	3.3	5	51,659	4.7	5	1,592,700	5.4
10 飲料・たばこ	12	98	2.4	4	4,285	4.2	8	400,402	4.3
11 織 維	30	109	1.2	40	1,923	0.9	34	25,007	0.7
12 木材・木製品	26	79	1.7	18	2,097	2.4	16	64,964	2.4
13 家具・装備品	17	81	1.9	14	2,245	2.6	5	101,690	5.1
14 パルプ・紙	12	118	2.3	13	4,456	2.5	16	137,903	1.9
15 印 刷	11	209	2.2	9	6,514	2.8	7	162,057	3.5
16 化 学	4	271	5.4	6	22,018	5.8	3	2,041,994	7.1
17 石油・石炭	4	46	4.7	1	3,926	14.0	1	2,764,499	24.9
18 プラスチック	13	315	2.7	16	9,152	2.1	15	272,713	2.2
19 ゴ ム	7	82	4.1	22	2,049	1.8	23	38,433	1.3
20 な め し 革	6	33	3.8	7	689	4.1	9	9,709	3.7
21 窯 業 ・ 土 石	11	234	2.6	8	8,065	3.5	7	294,527	3.9
22 鉄 鋼	4	239	5.7	4	16,373	7.5	3	1,393,436	9.2
23 非 鉄	11	72	2.8	10	5,032	3.6	10	397,133	4.2
24 金 属 製 品	9	817	3.4	9	20,732	3.6	6	673,691	4.5
25 は ん 用 機 械	13	185	2.8	18	6,266	2.0	19	201,575	1.8
26 生 産 用 機 械	16	392	2.2	19	13,294	2.2	15	497,773	2.5
27 業 務 用 機 械	13	113	3.0	20	3,696	1.8	16	149,559	2.3
28 電 子 ・ デ バ イ ス	20	74	1.9	35	6,146	1.5	35	214,982	1.5
29 電 気 機 械	20	149	1.8	23	5,637	1.2	24	159,467	0.9
30 情 報 通 信 機 械	16	24	2.1	18	1,949	1.7	17	124,227	1.9
31 輸 送 用 機 械	23	114	1.2	35	3,597	0.4	37	79,354	0.1
32 そ の 他 製 造 業	13	179	2.6	12	4,217	2.8	10	128,635	3.0

(注)経済産業省公表の令和3年経済センサス-活動調査(製造業)による。(従業者4人以上の事業所)

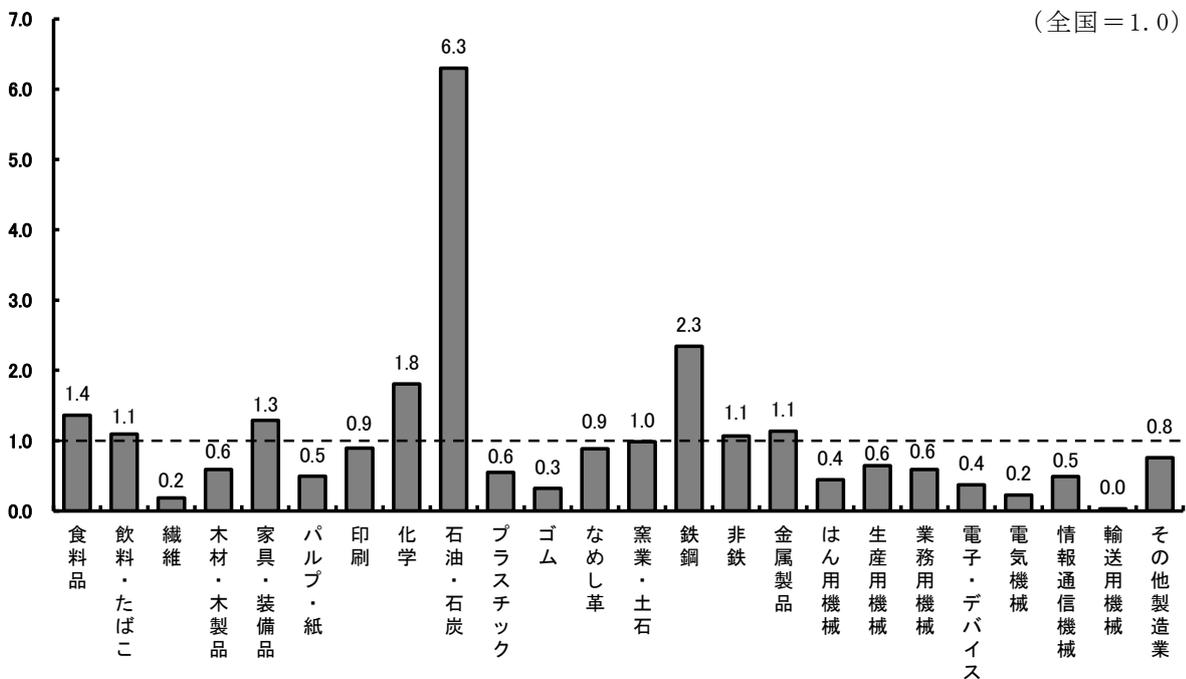
※ 割合は、全国に占める千葉県の割合を示す。

また、本県の産業中分類別出荷額等の構成比を全国の同構成比で除した特化係数をみると、石油・石炭が6.3と非常に高く、以下、鉄鋼2.3、化学1.8となり、この3業種が高い割合を示しています。

第 32 図 全国における千葉県の製造品出荷額等の産業中分類別特化係数（1）



第 33 図 全国における千葉県の製造品出荷額等の産業中分類別特化係数（2）



$$\text{特化係数} = \frac{\text{本県の中分類別製造品出荷額等の構成比}}{\text{全国の中分類別製造品出荷額等の構成比}}$$

(注)経済産業省公表の令和3年経済センサス-活動調査(製造業)による。(従業者4人以上の事業所)

### (3) 千葉県の主要品目

千葉県の製造品出荷額が全国一多い主な品目は、第25表のとおりです。

第25表 千葉県の製造品出荷額が全国一多い主な品目一覧

品目番号	品目名	製造品出荷額（金額：百万円）		
		全 国 (a)	千葉県 (b)	構成比 (b)/(a)%
093111	野菜缶詰（瓶詰・つぼ詰を含む）	56,503	16,913	29.9
094211	しょう油、食用アミノ酸（粉しょう油、固形しょう油を含む）	180,103	42,146	23.4
094919	他に分類されない調味料（※1）	941,477	103,154	11.0
099711	すし、弁当、おにぎり	1,313,157	147,437	11.2
102415	味りん（本直しを含む）	31,444	10,023	31.9
104111	人造氷	57,876	25,015	43.2
131213	金属製電動ベッド	32,371	25,337	78.3
162923	カリウム塩類	31,236	17,758	56.9
163239	その他の脂肪族系中間物（※2）	926,934	216,598	23.4
163527	エポキシ樹脂	68,280	30,627	44.9
163611	合成ゴム（合成ラテックスを含む）	502,636	126,647	25.2
164411	油性塗料	29,888	10,435	34.9
241119	その他のめっき板製容器（※3）	82,863	14,464	17.5
242913	架線金物	94,130	19,390	20.6
244112	軽量鉄骨	99,185	52,136	52.6
249211	かさね板ばね	28,170	11,245	39.9
274311	医療用品	119,882	17,081	14.2
325316	トラック・フィールド用具、体操用具	3,685	1,082	29.4

(注1) 経済産業省公表の2020年工業統計「品目別統計表」による。（従業者4人以上の事業所）

(注2) 千葉県の製造品出荷額が、他県の製造品出荷額の秘匿分の合計額より大きい場合のみ掲載。

※1 他に分類されない調味料：スープ類、だしの素、エキス、タレ、みりん風調味料、ぼん酢、三杯酢、めんつゆ等

※2 その他の脂肪族系中間物：アセトアルデヒド、酢酸エステル、テトラクロルエチレン、分解ガソリン等

※3 その他のめっき板製容器：アイスクリーム缶、取枠、巻枠、牛乳輸送用容器、ケーシング、パッケージ等